

アイティメディア株式会社
2023年3月期 第2四半期
決算説明資料

2022年10月31日
証券コード：2148 東証プライム市場





- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。
- 当社の業績に影響を与えうる事項は「2022年3月期有価証券報告書」の「事業等のリスク」に記載されておりますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与えうる要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。
- 本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。
- この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。

- 当社は、2016年度第1四半期決算より、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用いたしました。
- 2020年3月期において、ナレッジオンデマンド株式会社の株式譲渡を実行したことに伴い、同社を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの損益は、要約四半期損益計算書上、継続事業と区分して表示しております。これに伴い、売上収益および営業利益は、継続事業の金額を表示しております。なお、2019年3月期についても同様に組み替えて表示しております。



当社の概要

2023年3月期 第2四半期 業績概況

サステナビリティ

2023年3月期 業績予想・配当予想




ITmedia Inc.

企業理念

メディアの革新を通じて 情報革命を実現し、社会に貢献する


- ・ 専門性・信頼性の高い情報選択により、知恵と知識の向上、情報格差の解消に貢献します。
- ・ テクノロジーの進化と共にメディア事業を革新し続けます。
- ・ 社会的知識基盤としての情報コミュニティを提供します。


1
 Materiality

情報革命による 人類の明るい未来の創造


優れたIT人材を世に多く輩出し、IT産業の振興とテクノロジーの普及を進めることで社会全体の生産性向上と社会課題解決を促し、人類社会の発展に貢献する。

社会的価値


2
 Materiality

社会的知識基盤の提供を通じた 平等な社会の実現


付加価値の高い信頼のできる知識や情報を全ての人に提供する基盤を構築することで情報格差を解消し、誰一人取り残さない平等な社会を実現する。


3
 Materiality

責任ある 情報技術の活用


信頼性の高い情報を正しい方法で伝え、また情報やテクノロジーが倫理的で適切に利活用される環境を醸成することで、イノベーション推進の基盤を強化する。

メディアの力


4
 Materiality

多様性を尊重した 働き方の推進

多様な人材が安心して活躍できる環境を整備することで、従業員のモチベーションや生産性を高め、企業の持続的な成長を目指していく。


5
 Materiality

強固で透明性の高い ガバナンス体制の構築

透明性を高め、中長期的な企業成長に繋がる強固なガバナンス体制を構築することで、全てのステークホルダーからの信頼を獲得する。

責任ある事業基盤



テクノロジーのバイヤーとベンダーを 情報・データによって結び付ける 媒体

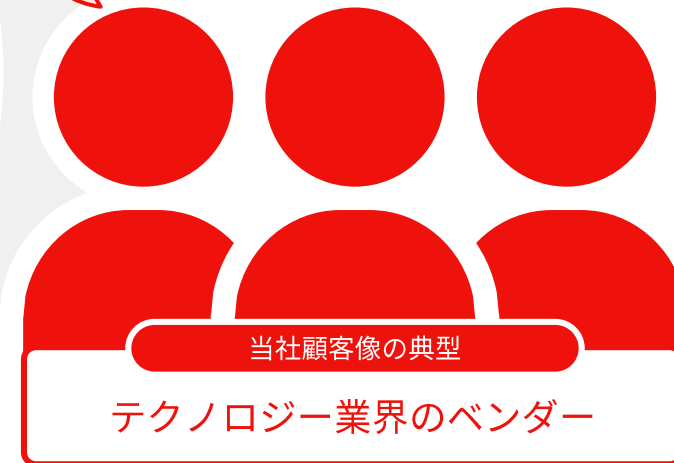
提供価値

情報革命に資する
テクノロジー専門情報



提供価値

効果的な
デジタルマーケティング



データを活用した
多様な収益モデル開発

データ
プラットフォーム

ターゲティングされた
専門コンテンツ



広告収益



運用型
広告収益



デジタル
イベント収益



100名規模の
専門営業部隊



テクノロジー企業
2,000社の顧客

行動データ
月間4億PV超



会員データ
100万人超



リードジェン
収益



データ
ドリブン収益



外部データ
連携



レビュー
マーケティング
収益



顧客・ユーザー規模

見込み顧客数
7,000社

ベンダー
顧客数
2,000社

バイヤー
プロフィール会員
110万人

読者数
2,500万人
5,000万UB

メディア・データ規模

デジタルイベント
開催回数
200回/年

専門メディア数
30メディア

記事本数
6,000本/月

月間PV数
4億PV

スタッフ

直販営業担当
100名

外部記者
1,000名

内部記者
100名

1

データ活用型サービスの開発
米国先進デジタルモデルの取り入れ



2

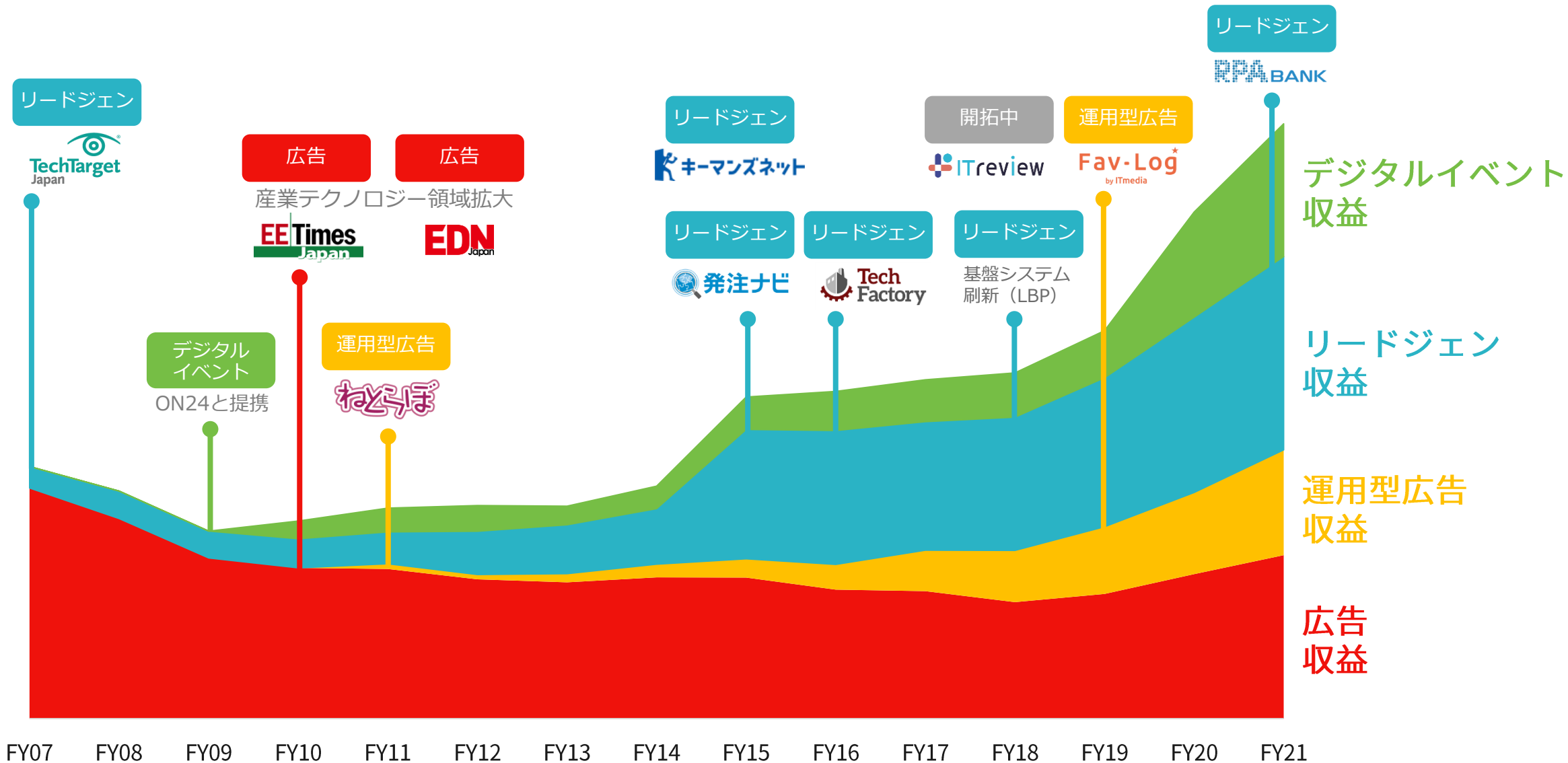
専門コンテンツが生む
1st Partyデータの質・量



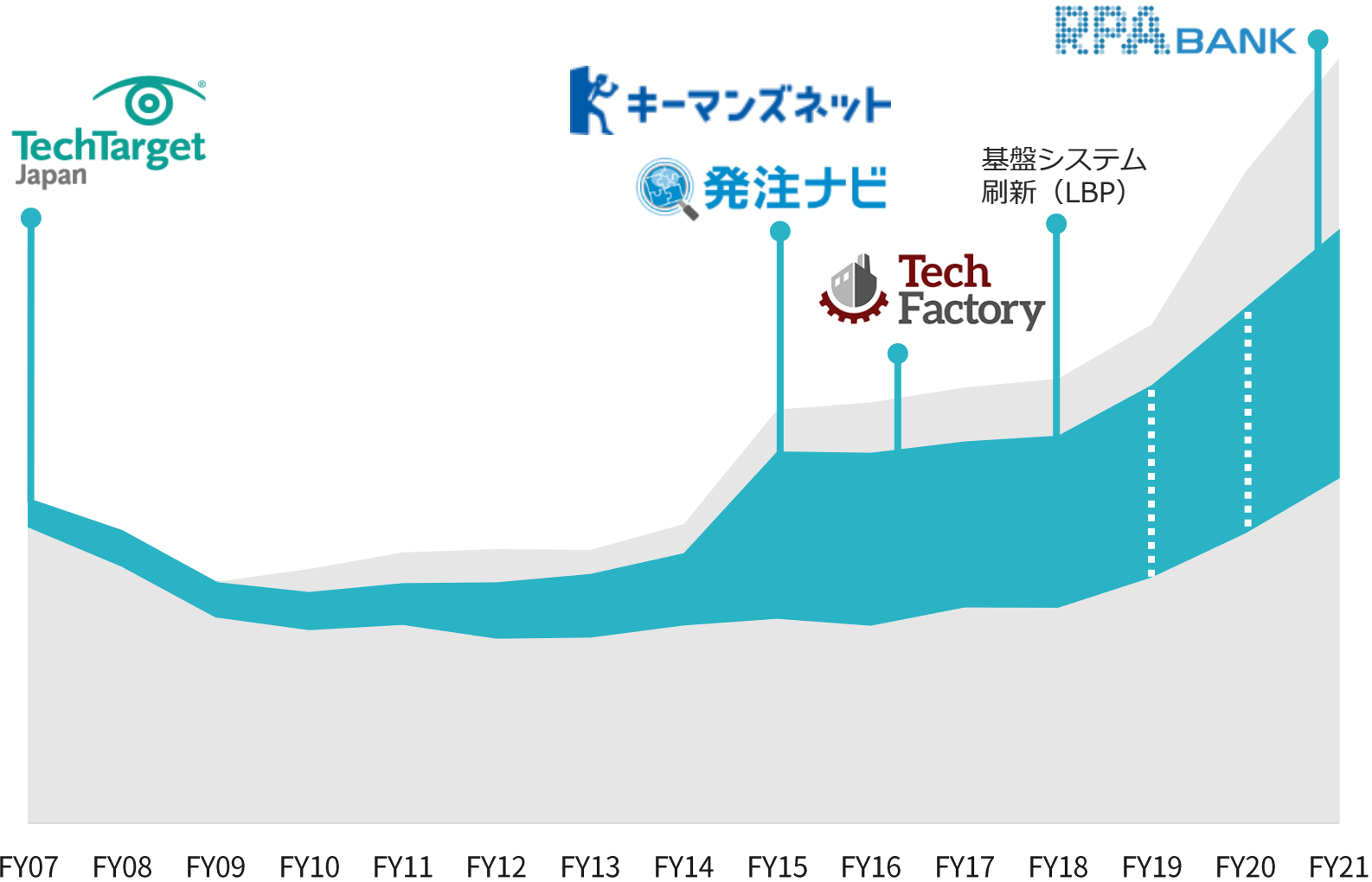
3

購買意欲の明確な
セールスリードの提供
デジタルならではの4つのコミット

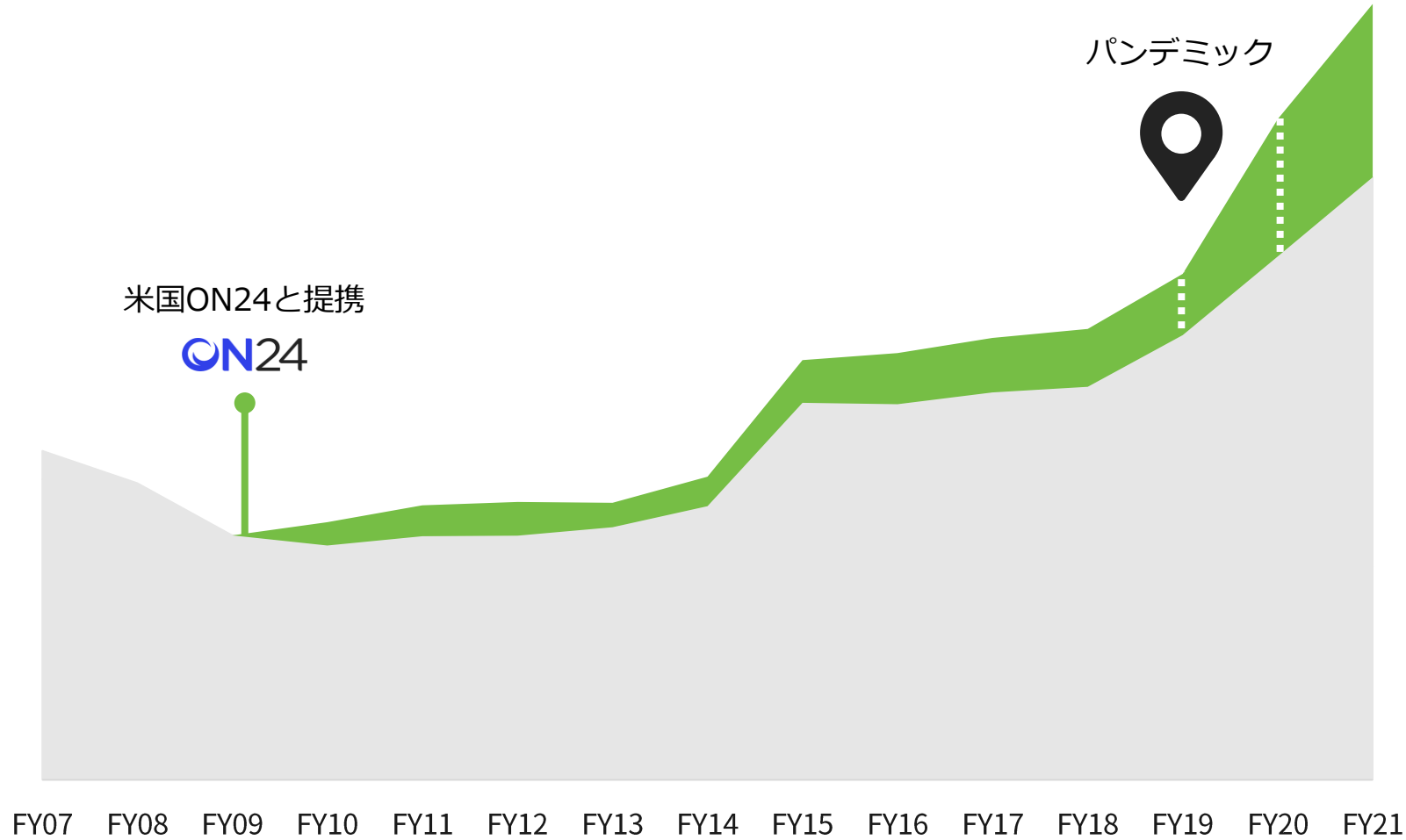




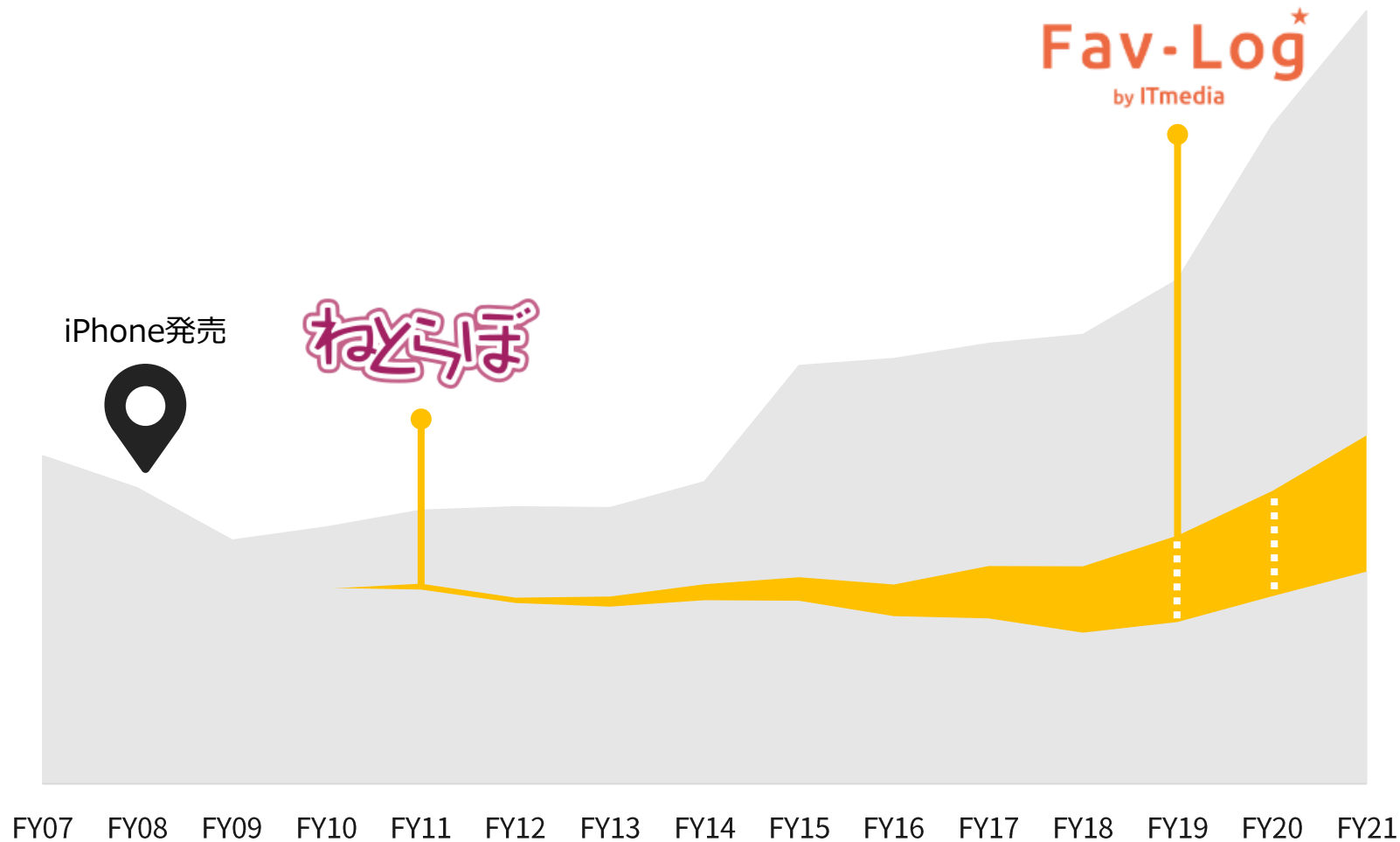
リードジェン収益：米国の先進モデル「リードジェン」の輸入・確立に成功



マーケティング、
営業のデジタル化



パンデミック
をきっかけに
市場が確立



月間 3~4 億PVの
巨大メディアに
成長

価値発揮



社会変化を察知
集中的にコンテンツ強化

クラウド・SaaS

人工知能

セキュリティ

産業DX

脱炭素

SDGs



各モデルで相乗的に収益化
新規開発の加速

リードジェン

デジタルイベント

運用型広告

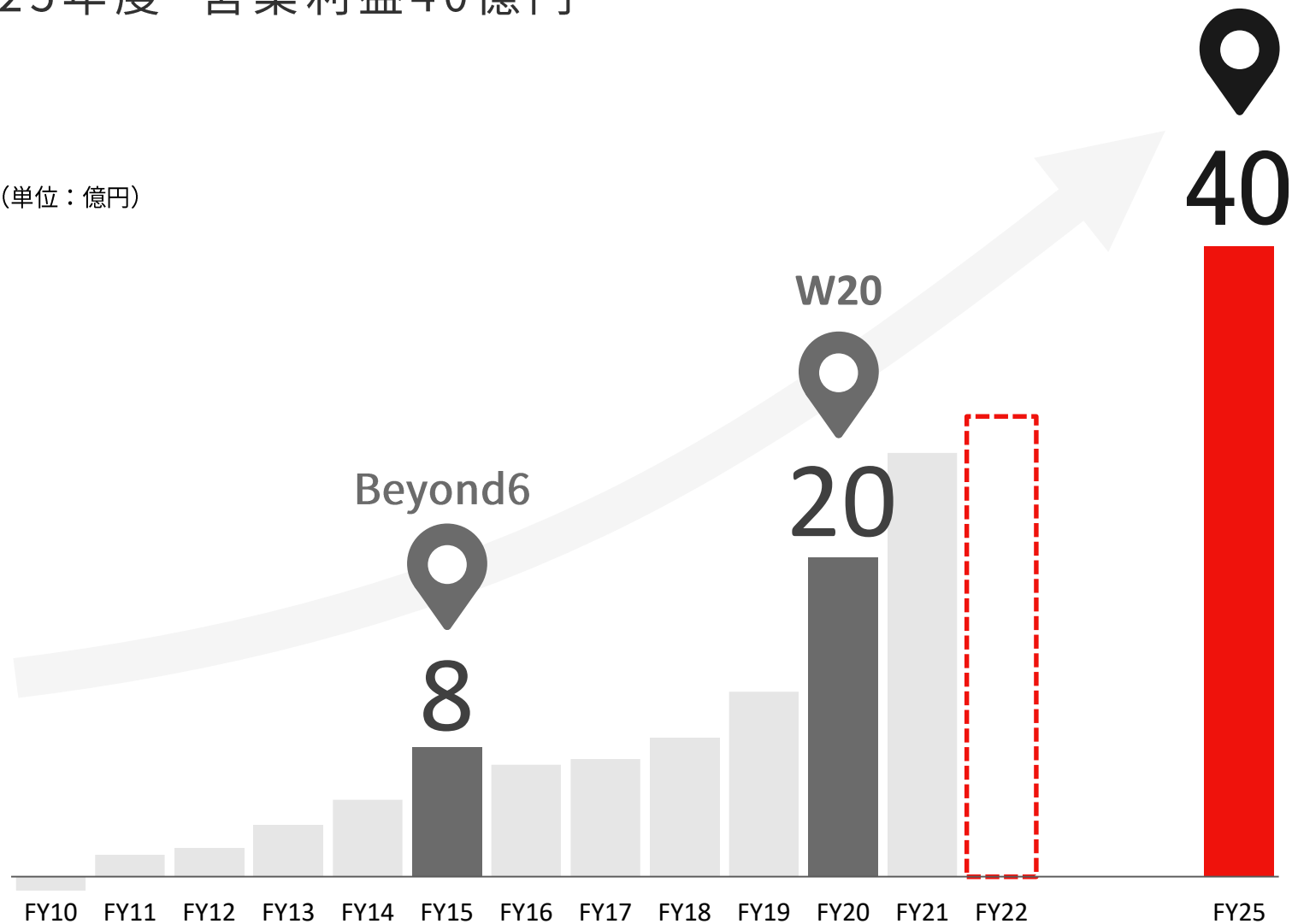
データドリブン

高ターゲティング広告

再投資

2025年度 営業利益40億円

(単位：億円)



2025年度 営業利益

40 億円達成
||
X40
エックスフォーティ



当社の概要

2023年3月期 第2四半期 業績概況

サステナビリティ

2023年3月期 業績予想・配当予想

過去最高

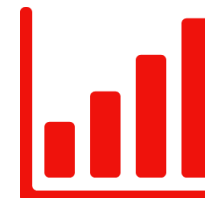
成長継続
業績予想に
向け堅調



売上収益
4,206百万円
(13%増)

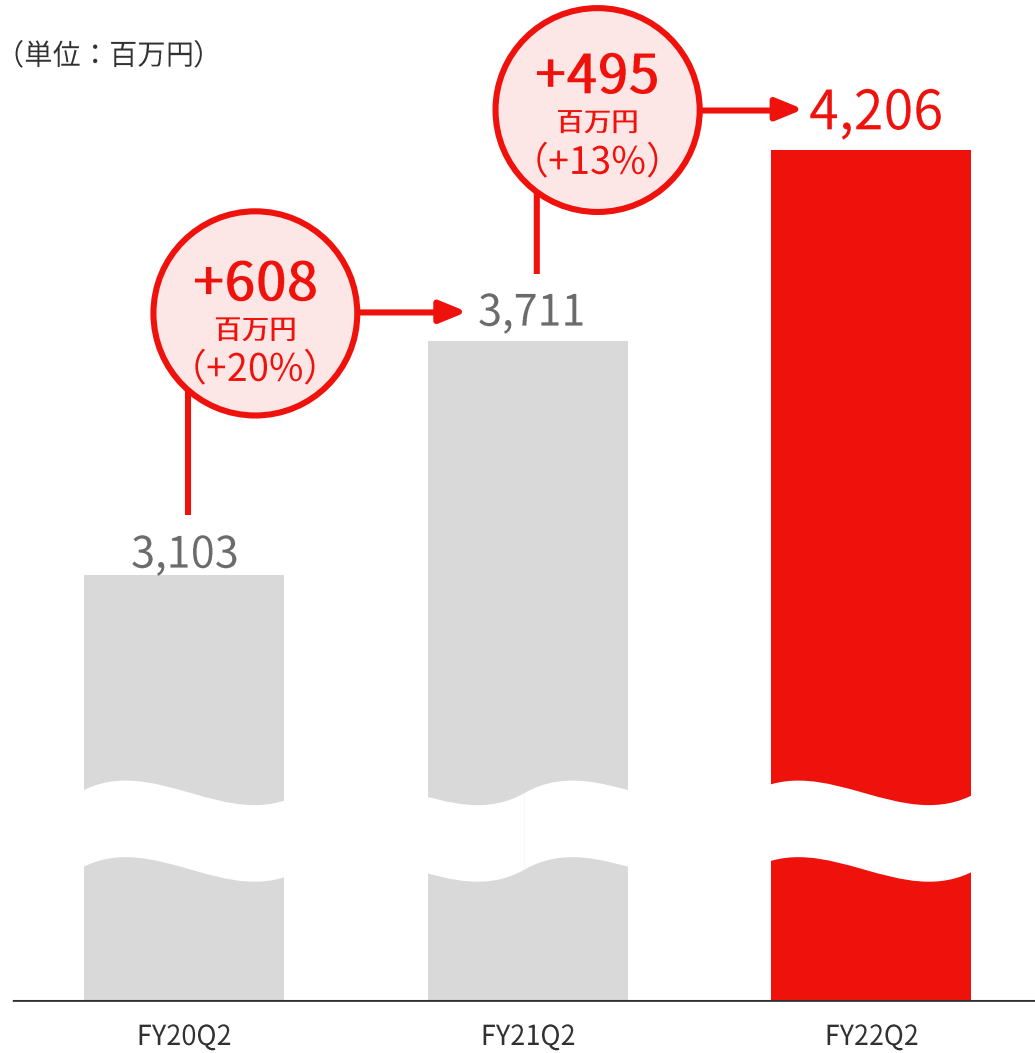
- リードジェン事業 10% 増
- メディア広告事業 16% 増
- ・マーケティングのデジタルシフト継続
- ・DX加速背景に製造系
 ／クラウド・SaaS系顧客ニーズ拡大
- ・主催型デジタルイベント好調
- ・運用型広告収益拡大

営業利益
1,392百万円
(10%増)

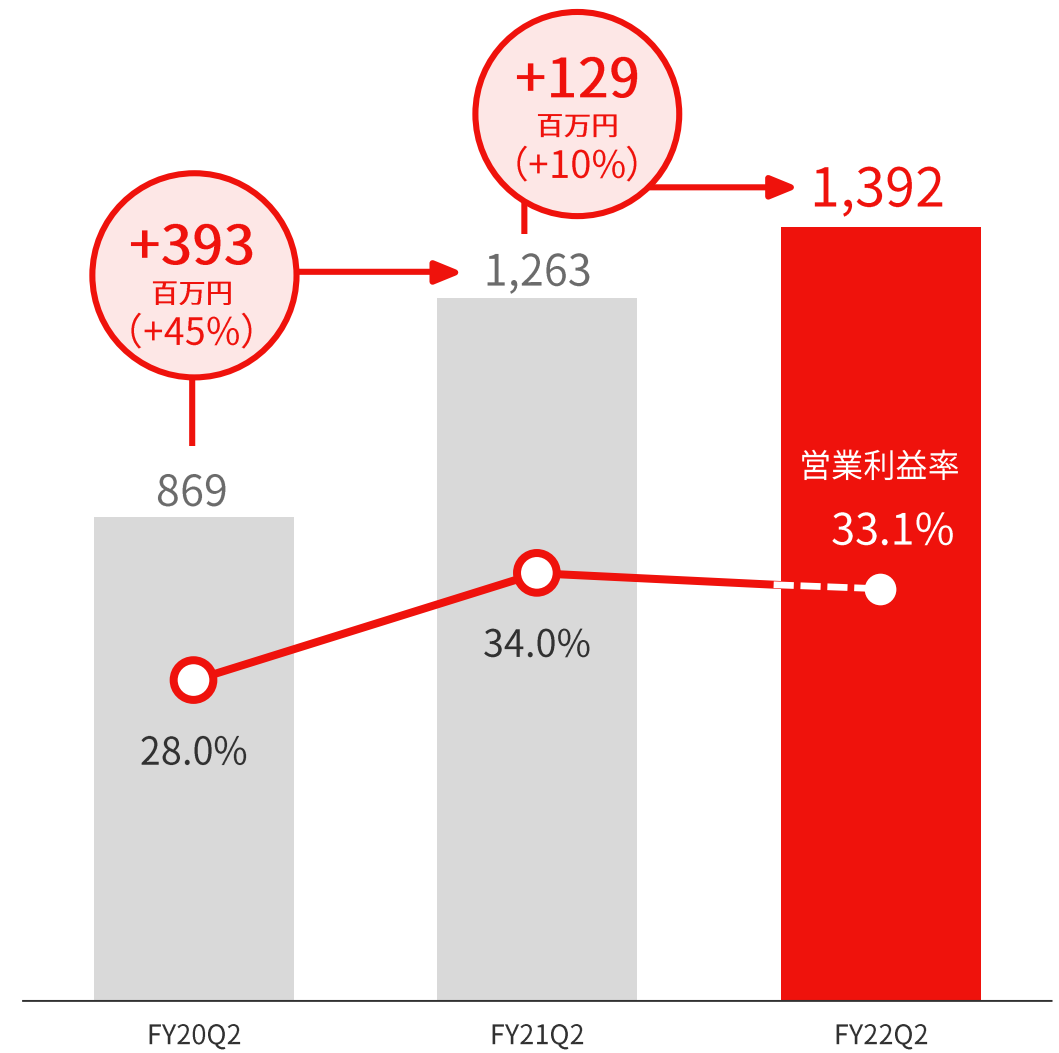


売上収益

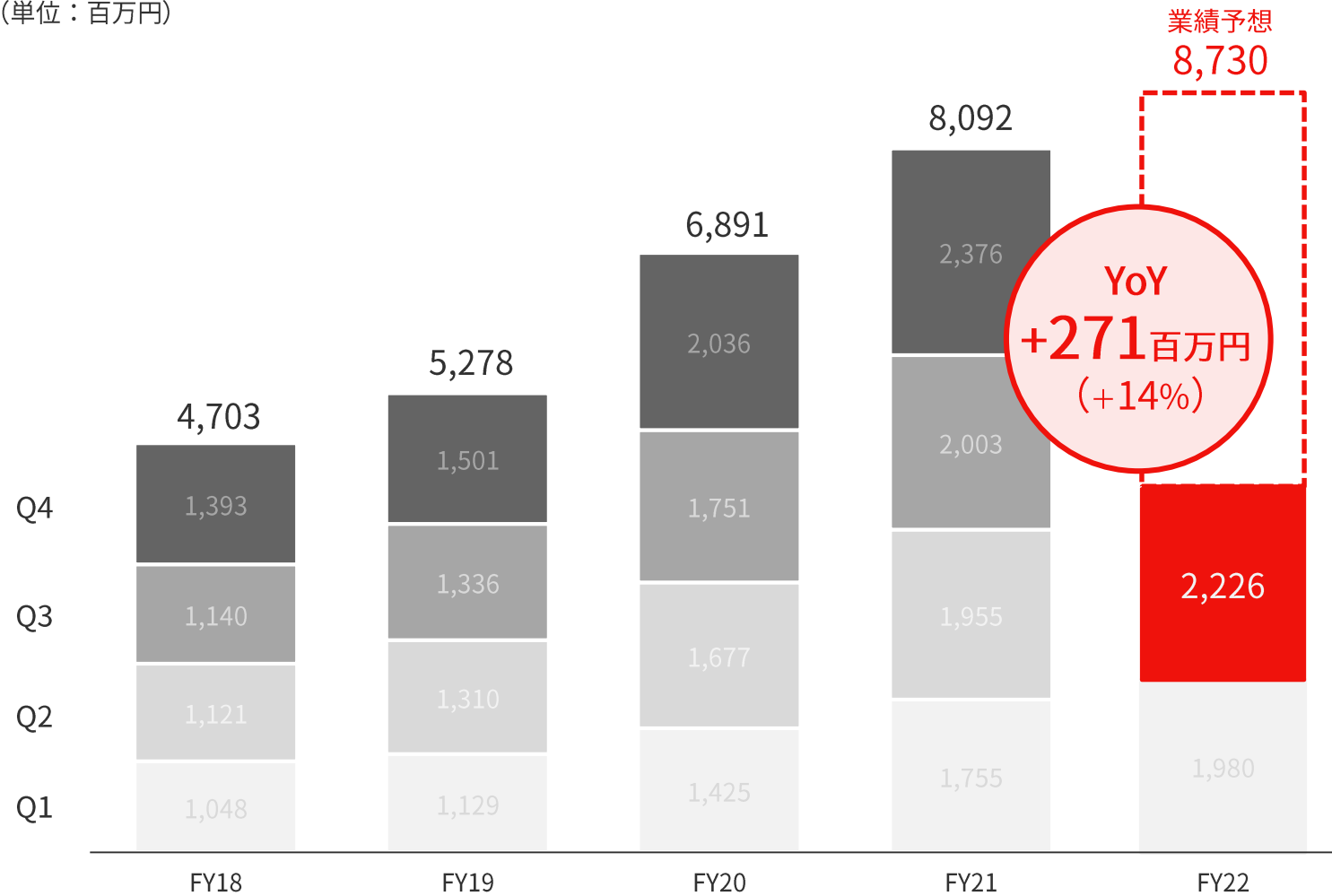
(単位：百万円)



営業利益



(単位：百万円)

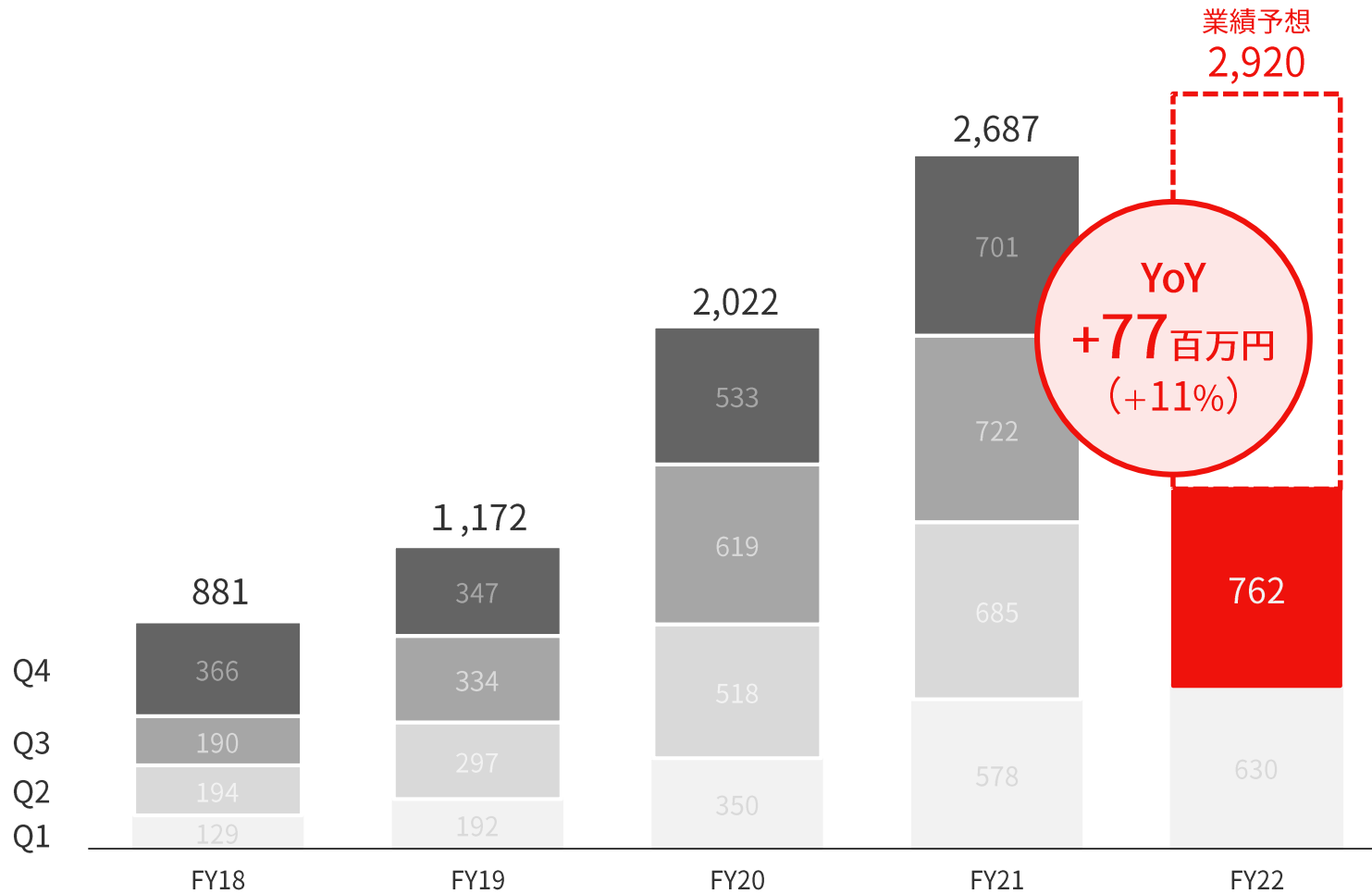


Q2 過去最高

Q2会計 **2,226**百万円

前期比 **+271**百万円
(+14%)

(単位：百万円)



Q2 過去最高

Q2会計

762百万円

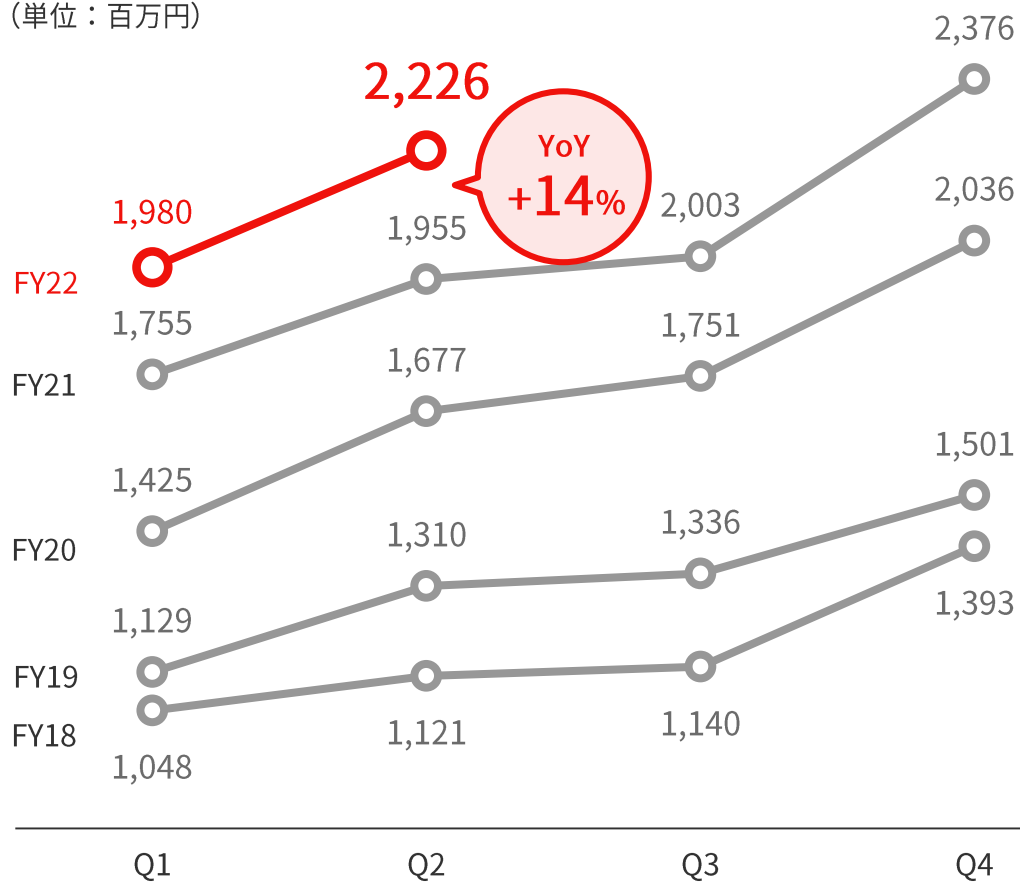
前期比

+77百万円
(+11%)

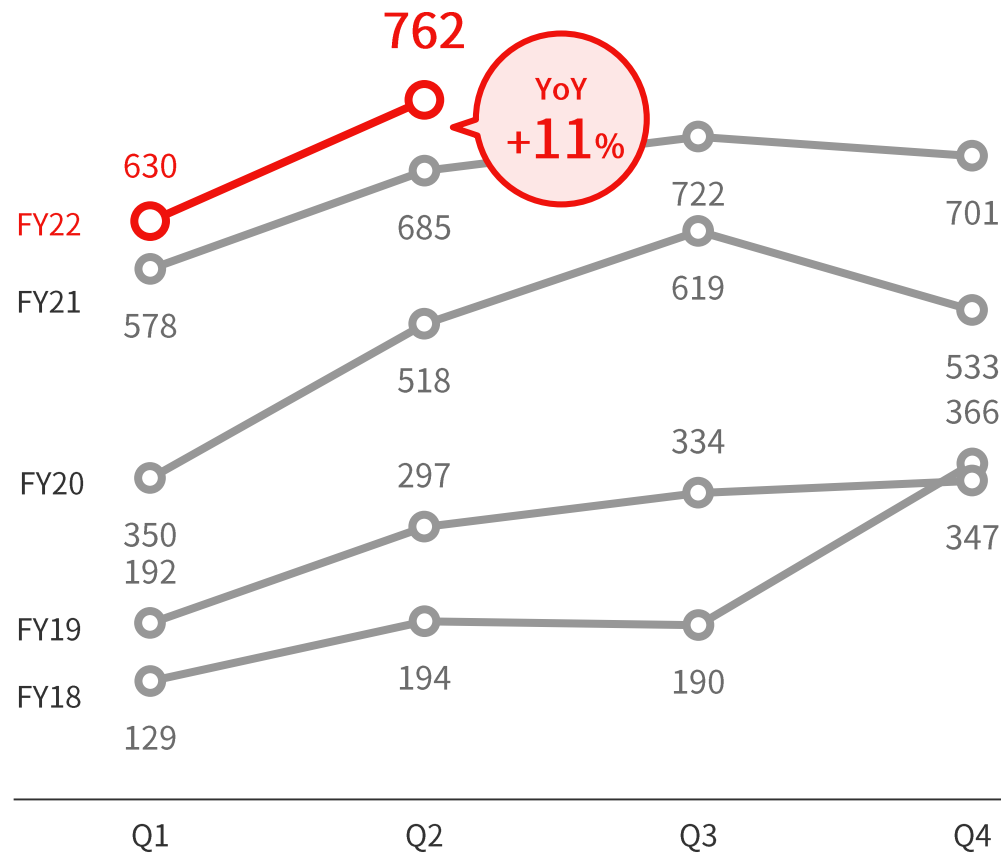
当期も四半期トレンドは継続。進捗は良好

売上収益

(単位：百万円)



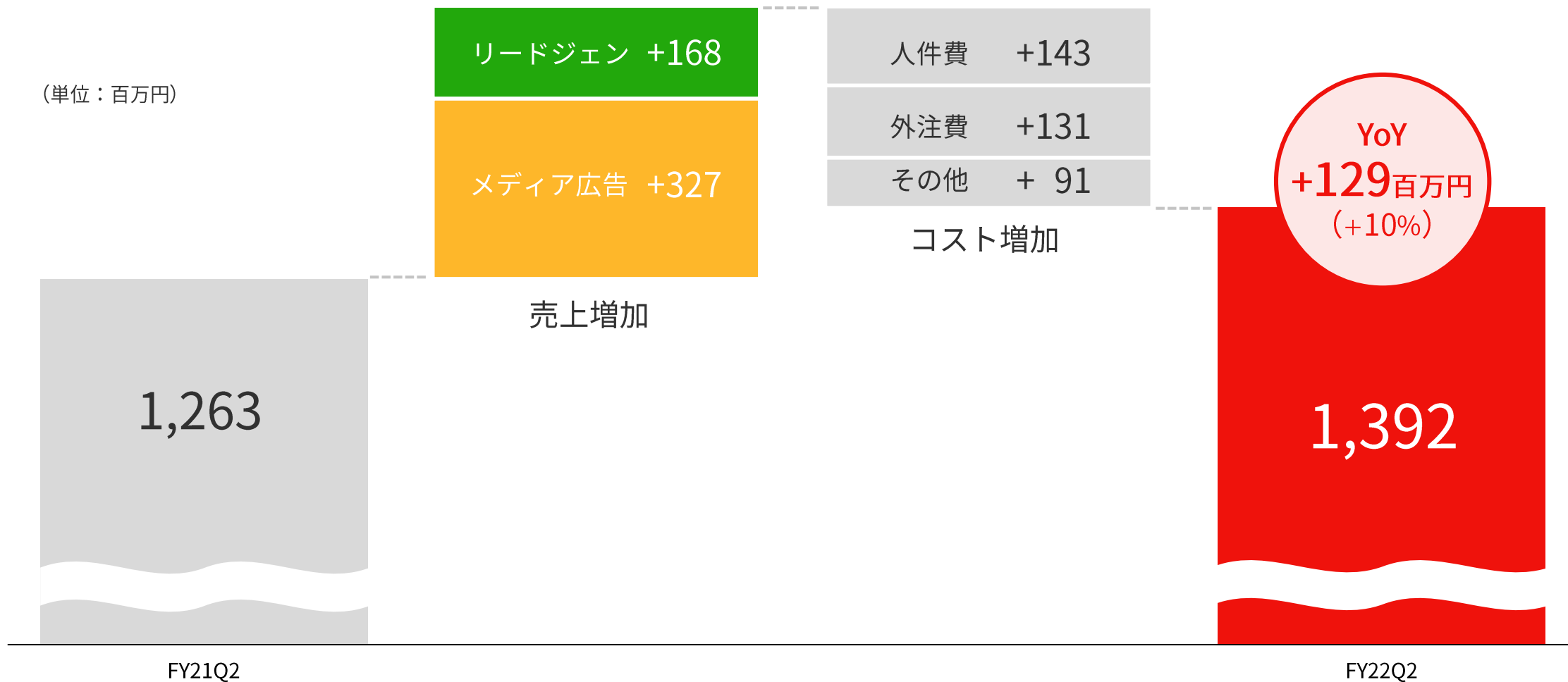
営業利益

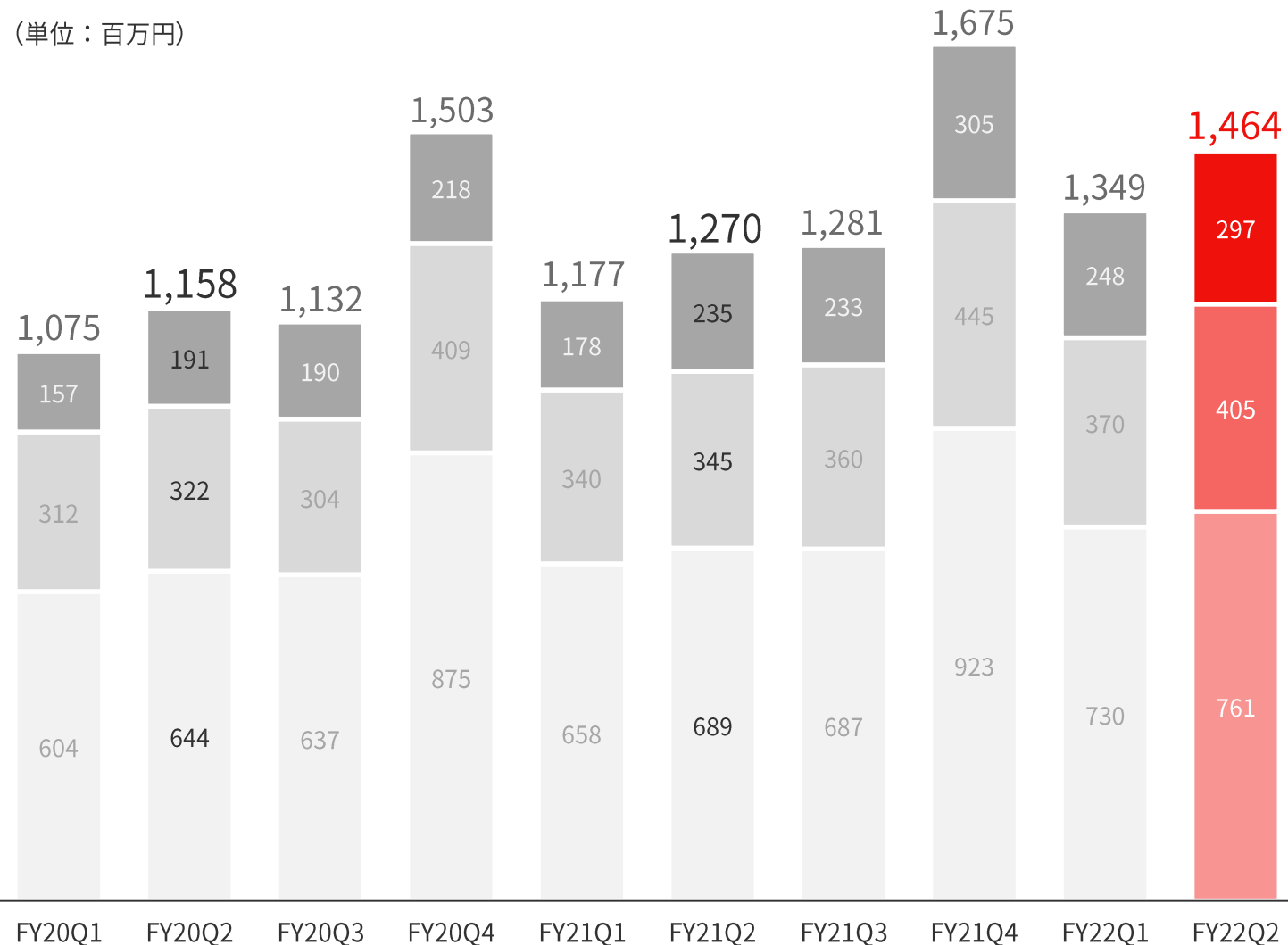


(単位：百万円)	FY21Q2		FY22Q2		増加額	増減率
	金額	売上比	金額	売上比		
売上収益	3,711	100.0%	4,206	100.0%	+495	+13.3%
総コスト	2,448	66.0%	2,814	66.9%	+365	+14.9%
(うち人件費)	1,348	36.3%	1,491	35.5%	+143	+10.6%
EBITDA	1,401	37.7%	1,525	36.3%	+124	+8.9%
営業利益	1,263	34.0%	1,392	33.1%	+129	+10.2%
税引前利益	1,255	33.8%	1,390	33.0%	+134	+10.7%
四半期利益	855	23.0%	946	22.5%	+90	+10.6%
親会社の所有者 に帰属する四半期利益	855	23.0%	946	22.5%	+90	+10.6%

※ EBITDA: 営業利益 + 減価償却費 + 無形資産の償却費 + 減損損失 + 株式報酬費用 - その他の一時収益 + その他の一時費用
2022年3月期Q4決算開示より株式報酬費用についても加算し、前期分も同様の算出をしております。

増収により増益。成長領域でのコンテンツ投資を強化

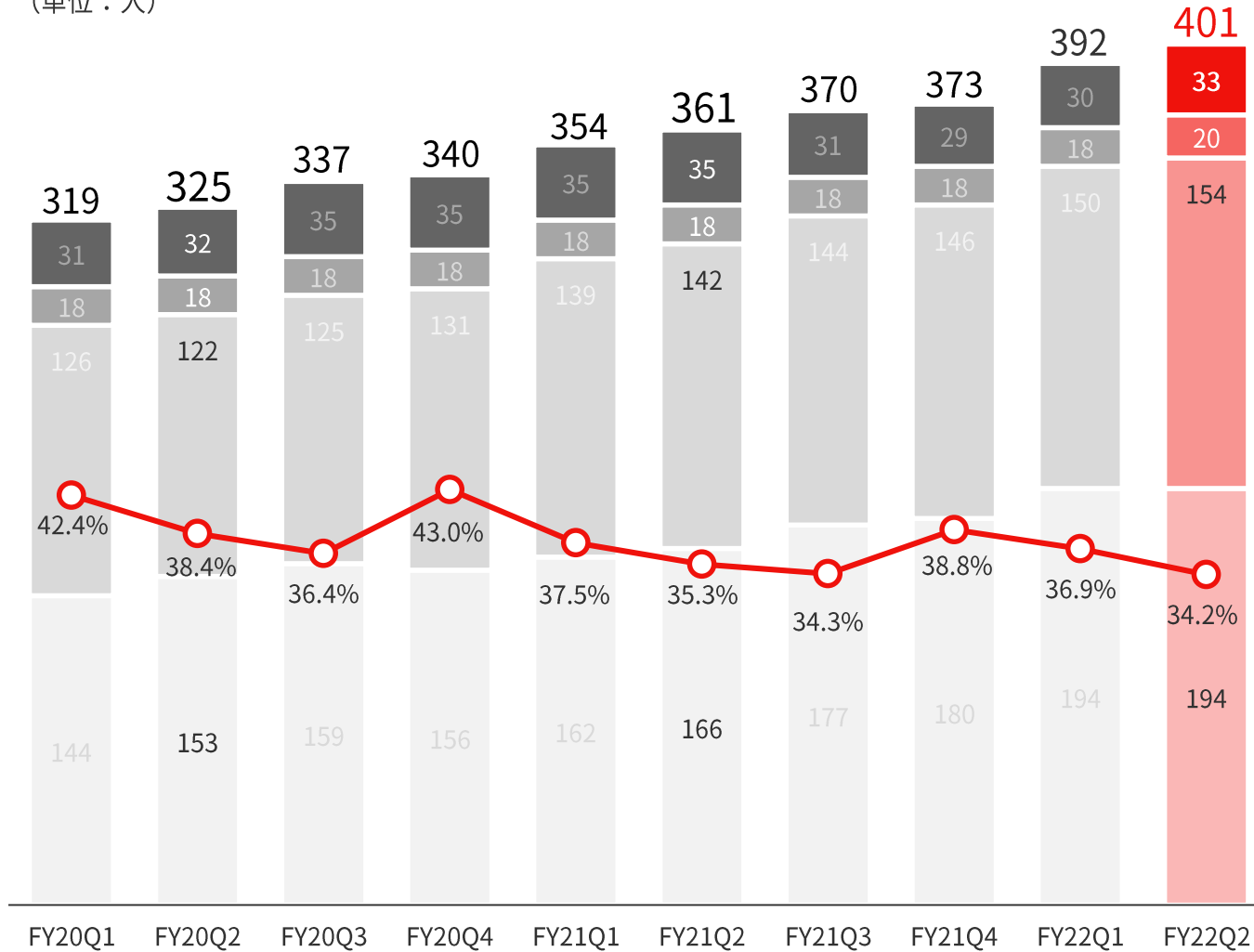




Q2会計	前期比	構成比
合計	+15.3%	100%
■ 外注費	+26.3%	20.3%
■ その他	+17.4%	27.7%
■ 人件費	+10.4%	52.0%

- 主な前期比増減要素
- 人件費 +71
 - ・ 成長領域での人員増加
 - 外注費 +61
 - ・ コンテンツへの投資拡大
 - ・ デジタルイベント拡大に連動 外部広告出稿を強化
 - その他 +60
 - ・ 業務環境、システム

(単位：人)



	Q2会計	前年同期比	構成比
合計		+40人	100%
■ 管理系・その他		▲2人	8.2%
■ 技術系		+2人	5.0%
■ 営業・企画系		+12人	38.4%
■ 編集系		+28人	48.4%

*契約、派遣、アルバイトを含む

$$\text{売上収益人件費率} = \frac{\text{【販管費】人件費} + \text{【原価】労務費}}{\text{売上収益}} \times 100$$

(単位：百万円)	FY21Q2	FY22Q2	差異
営業活動による キャッシュ・フロー	626	727	+100
投資活動による キャッシュ・フロー	▲9	▲12	▲2
財務活動による キャッシュ・フロー	▲688	▲316	+371
現金及び現金同等物の増減額	▲71	398	+469
現金及び現金同等物の期首残高	5,877	6,815	+938
現金及び現金同等物の期末残高	5,806	7,214	+1,408

営業CF 主な内訳

税引前利益	+1,390
法人所得税の支払額	▲586
営業債務及びその他の債務の 減少額	+100

投資CF 主な内訳

有形固定資産及び無形資産の 取得による支出	▲12
--------------------------	-----

財務CF 主な内訳

配当金の支払	▲237
リース負債の支払額	▲88

(単位：百万円)		22年3月末	22年9月末	差異
資産の部	流動資産	8,728	9,127	+399
	非流動資産	1,320	1,199	▲121
	資産合計	10,048	10,326	+277
負債の部	流動負債	2,051	1,619	▲431
	非流動負債	64	61	▲2
	負債合計	2,115	1,681	▲434
資本の部	資本金/資本剰余金	3,933	3,937	+3
	利益剰余金	5,143	5,852	+708
	自己株式	▲1,144	▲1,144	-
	他包括利益累計額	-	-	-
	親会社の所有者に 帰属する持分	7,932	8,644	+712
	資本合計	7,932	8,644	+712
	1株当たり 親会社の所有者に帰属する持分	401.34円	437.02円	+ 35.68円
親会社所有者帰属持分比率	78.9%	83.7%	+ 4.8pt	

資産合計

現金及び現金同等物	+398
使用権資産	▲87
無形資産	▲30

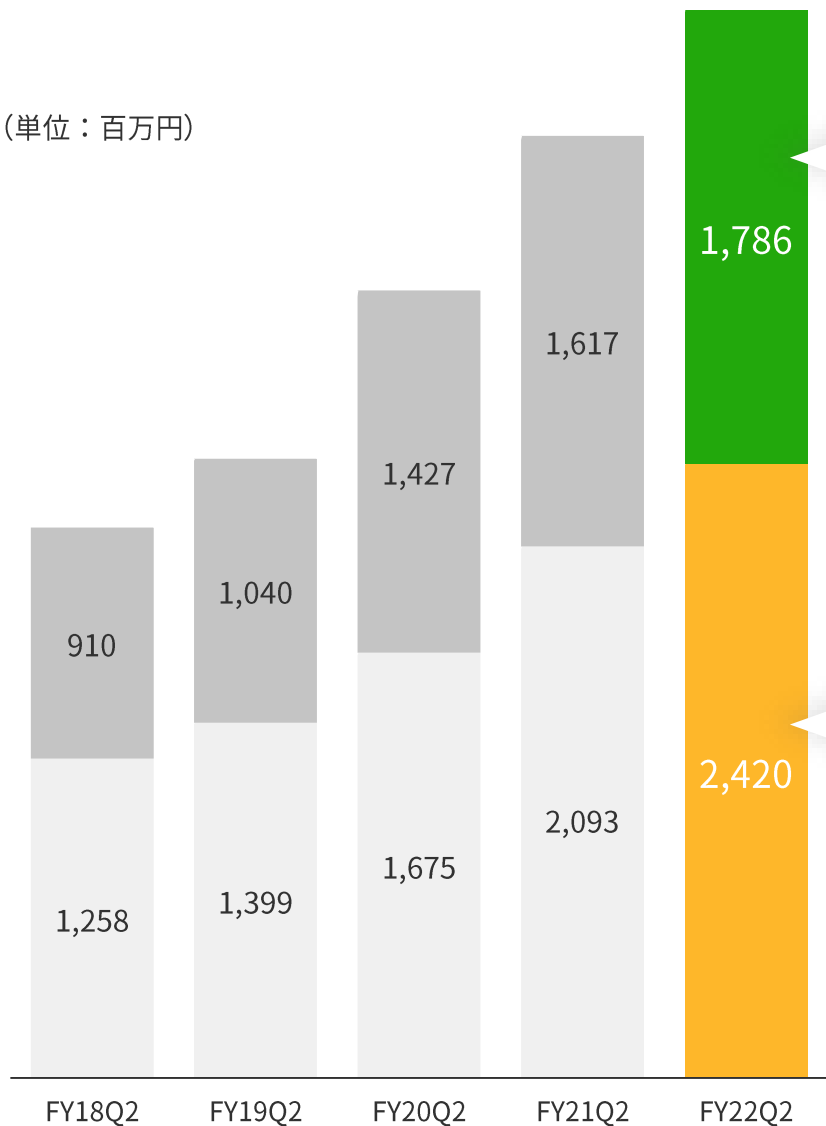
負債合計

未払法人所得税	▲140
営業債務及びその他の債務	▲93
リース負債	▲88
その他の流動負債	▲68
契約負債	▲41

資本合計

利益剰余金	+708
うち、四半期利益	(+946)
うち、剰余金の配当	(▲237)

(単位：百万円)



リードジェン事業

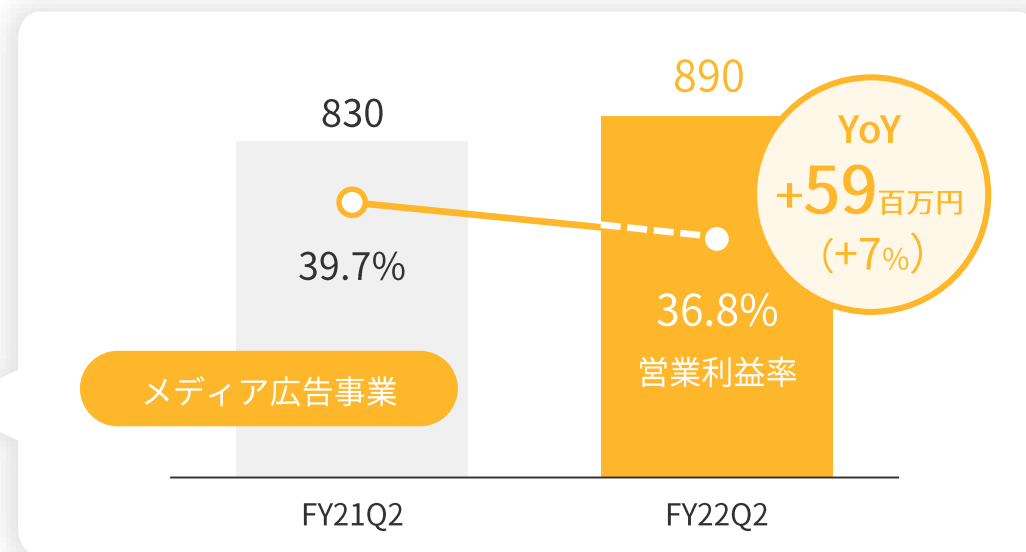
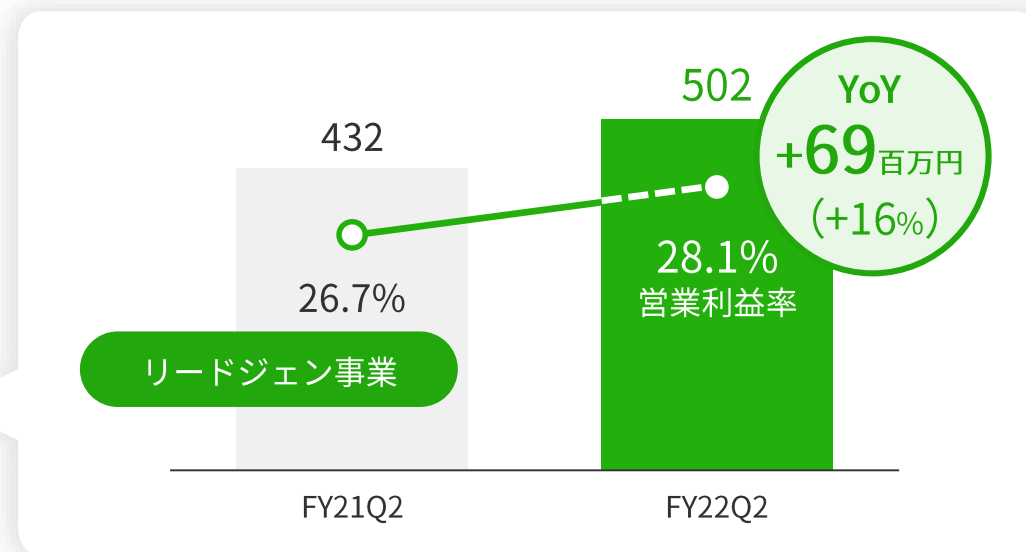
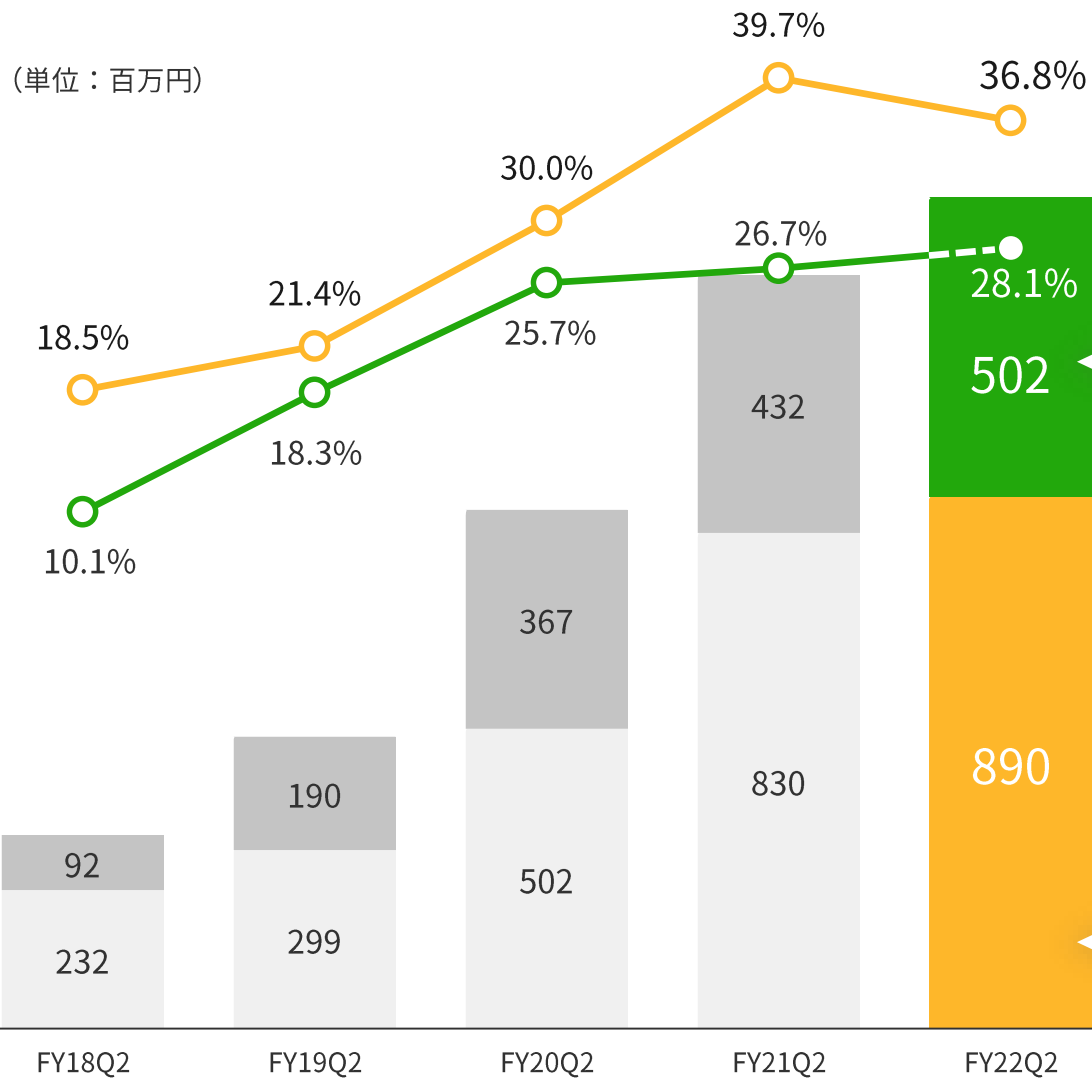
YoY +168百万円 (+10%)

- マーケティングのデジタルシフト継続

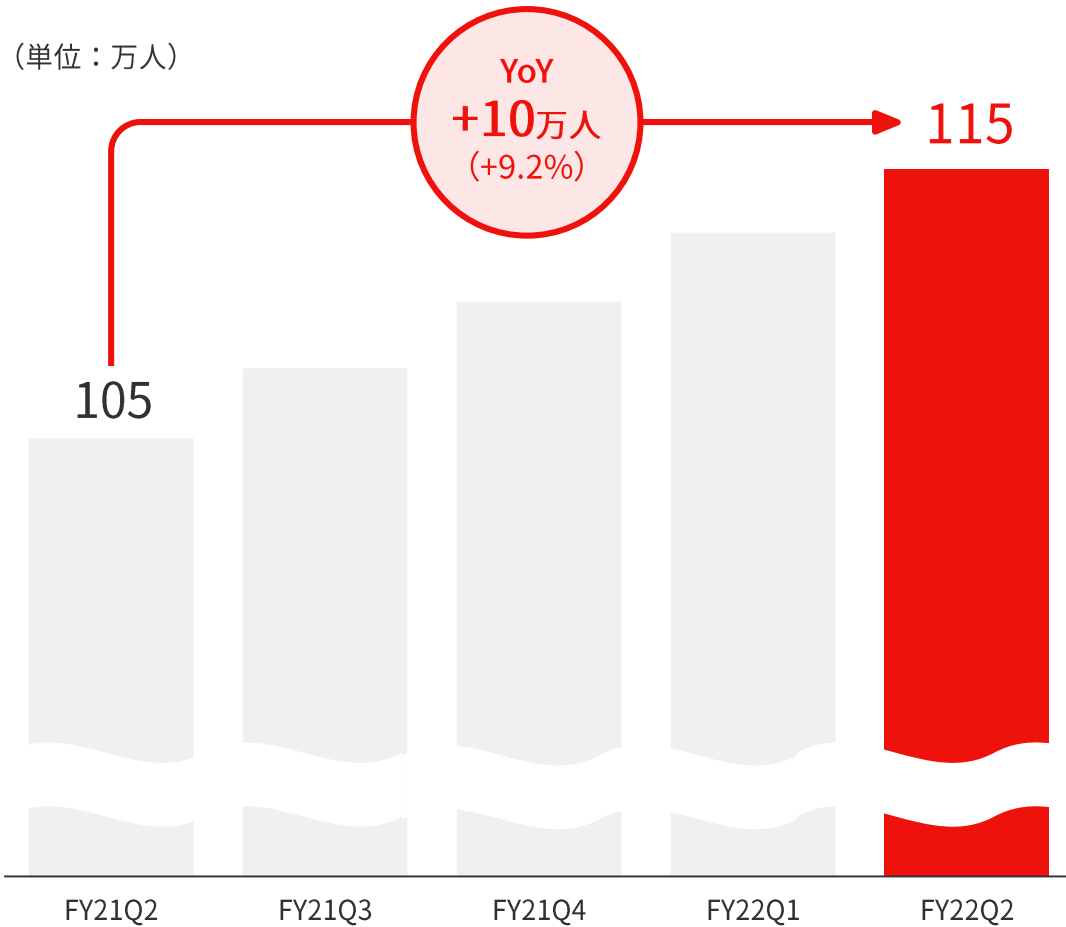
メディア広告事業

YoY +327百万円 (+16%)

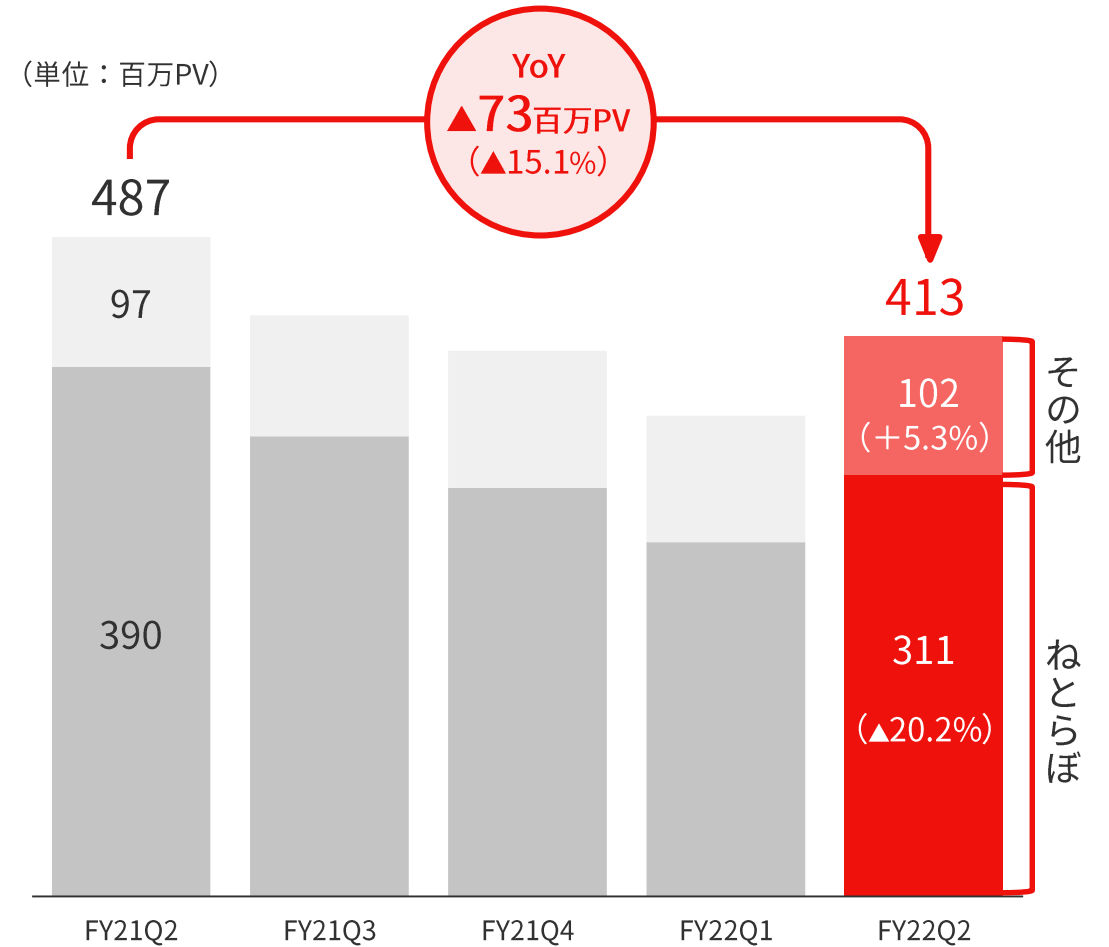
- DX加速背景に製造系、クラウド・SaaS系顧客ニーズ拡大
- 主催型デジタルイベント好調
- 運用型広告収益拡大



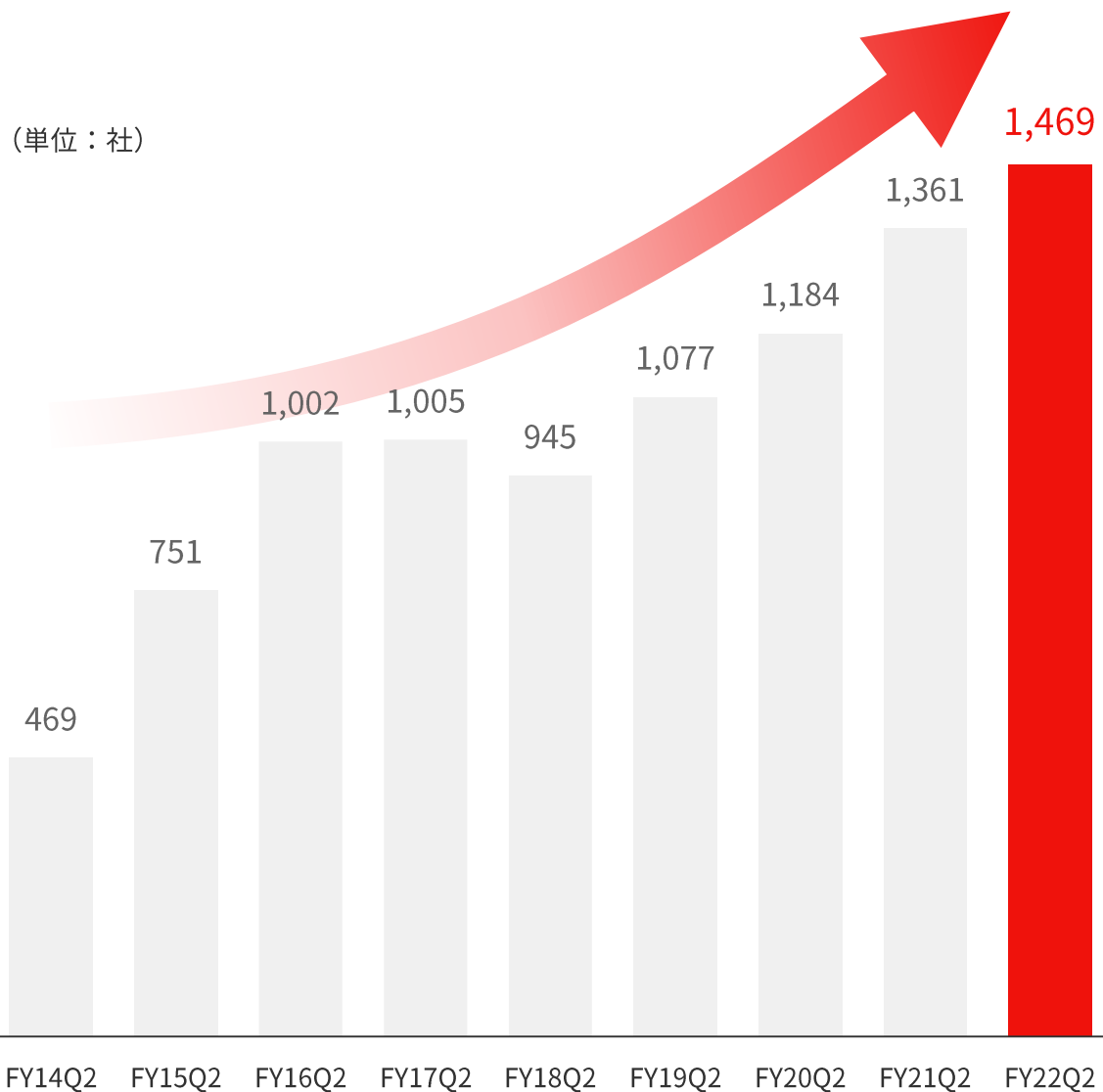
リードジェン会員数*1



PV数 (月平均)



*1：共通会員基盤「アイティメディア ID」上でリードジェンサービスの対象となっている会員数



クラウド・SaaS、
産業DX領域での
コンテンツ強化



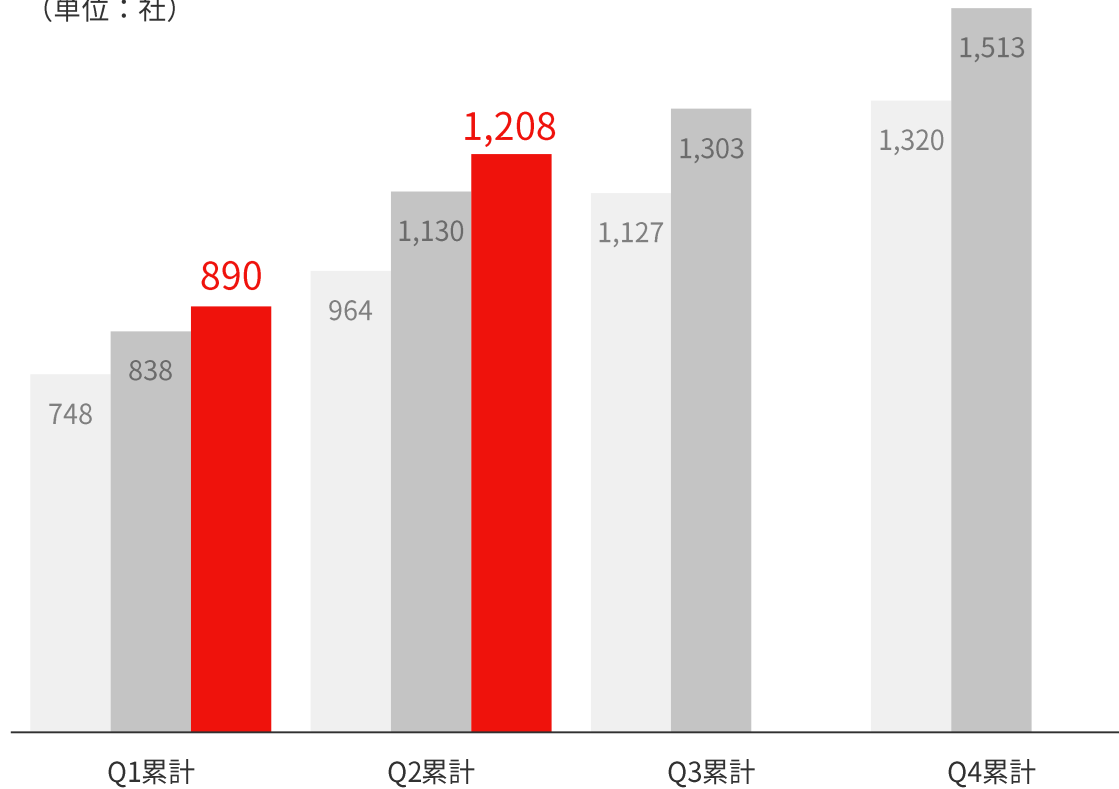
各領域で顧客数が増加

* 当該期間中に売上計上のあった社数

リードジェン

■ FY20 ■ FY21 ■ FY22

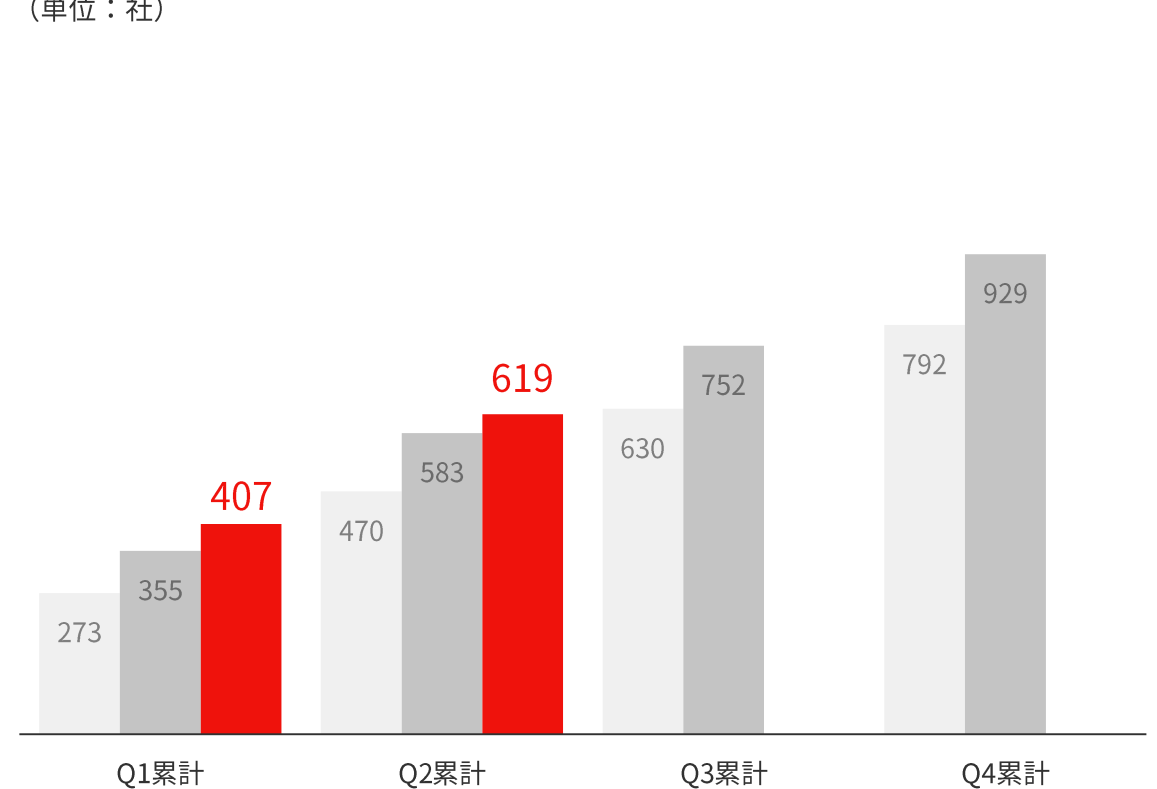
(単位：社)



メディア広告

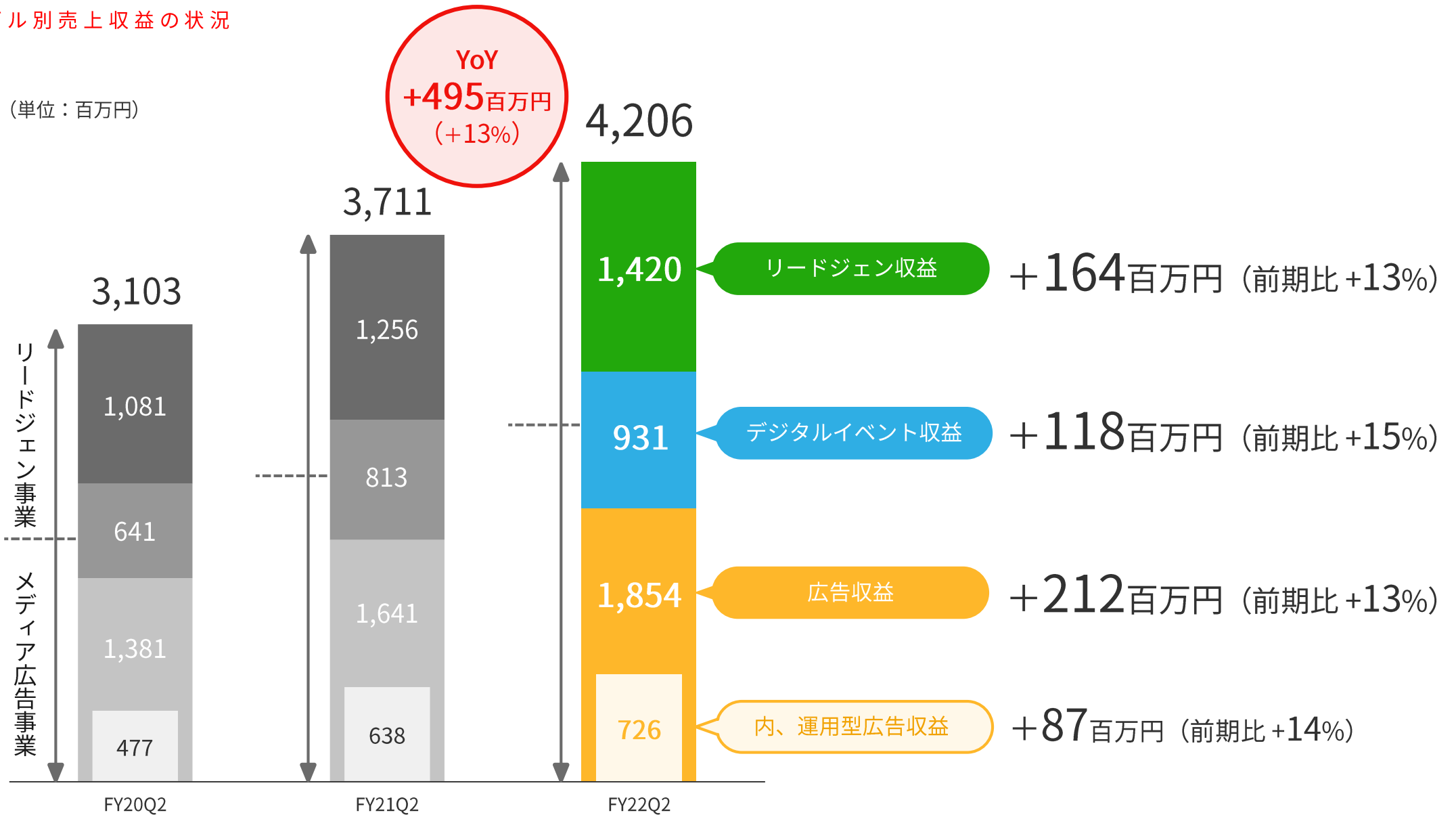
■ FY20 ■ FY21 ■ FY22

(単位：社)



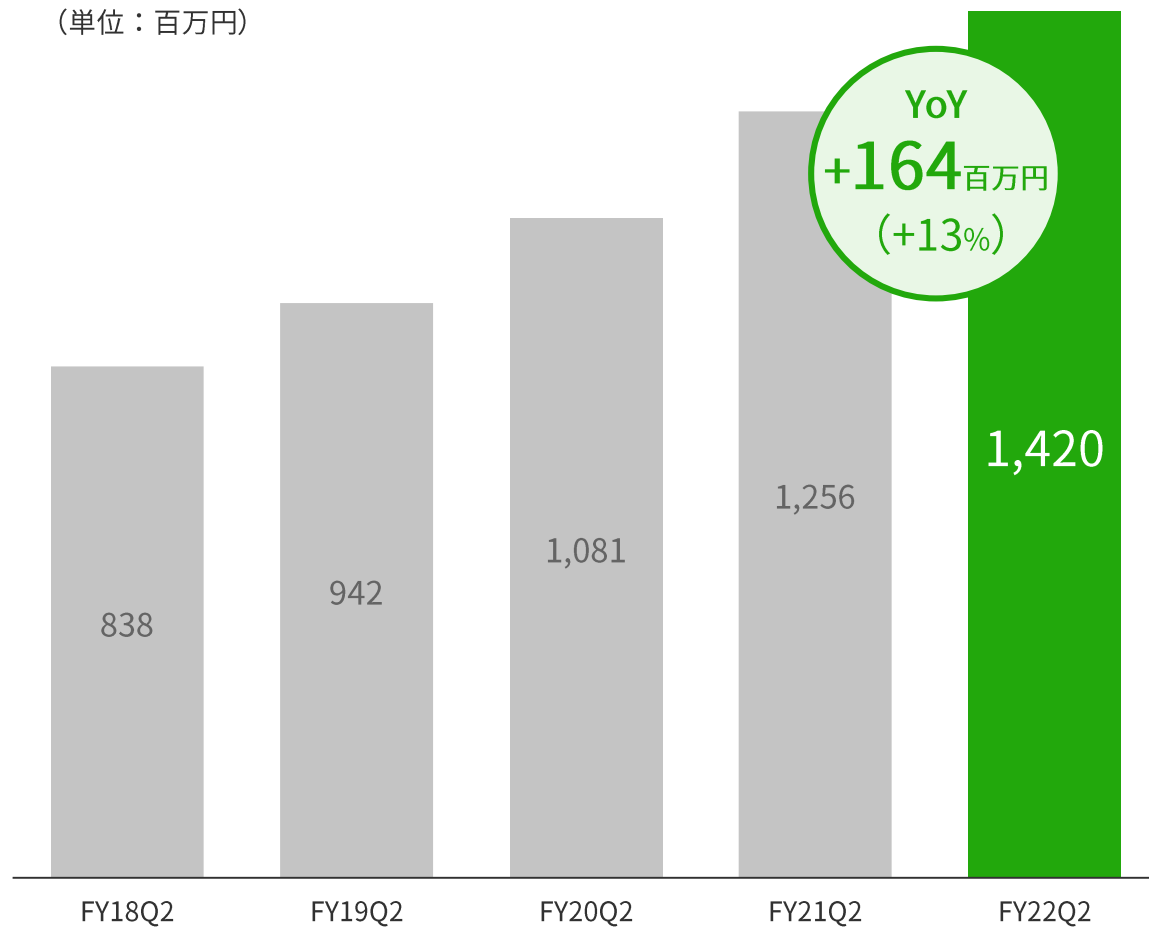
* 当該期間中に売上計上のあった社数

(単位：百万円)



※四半期推移データ：付録資料編参照

(単位：百万円)



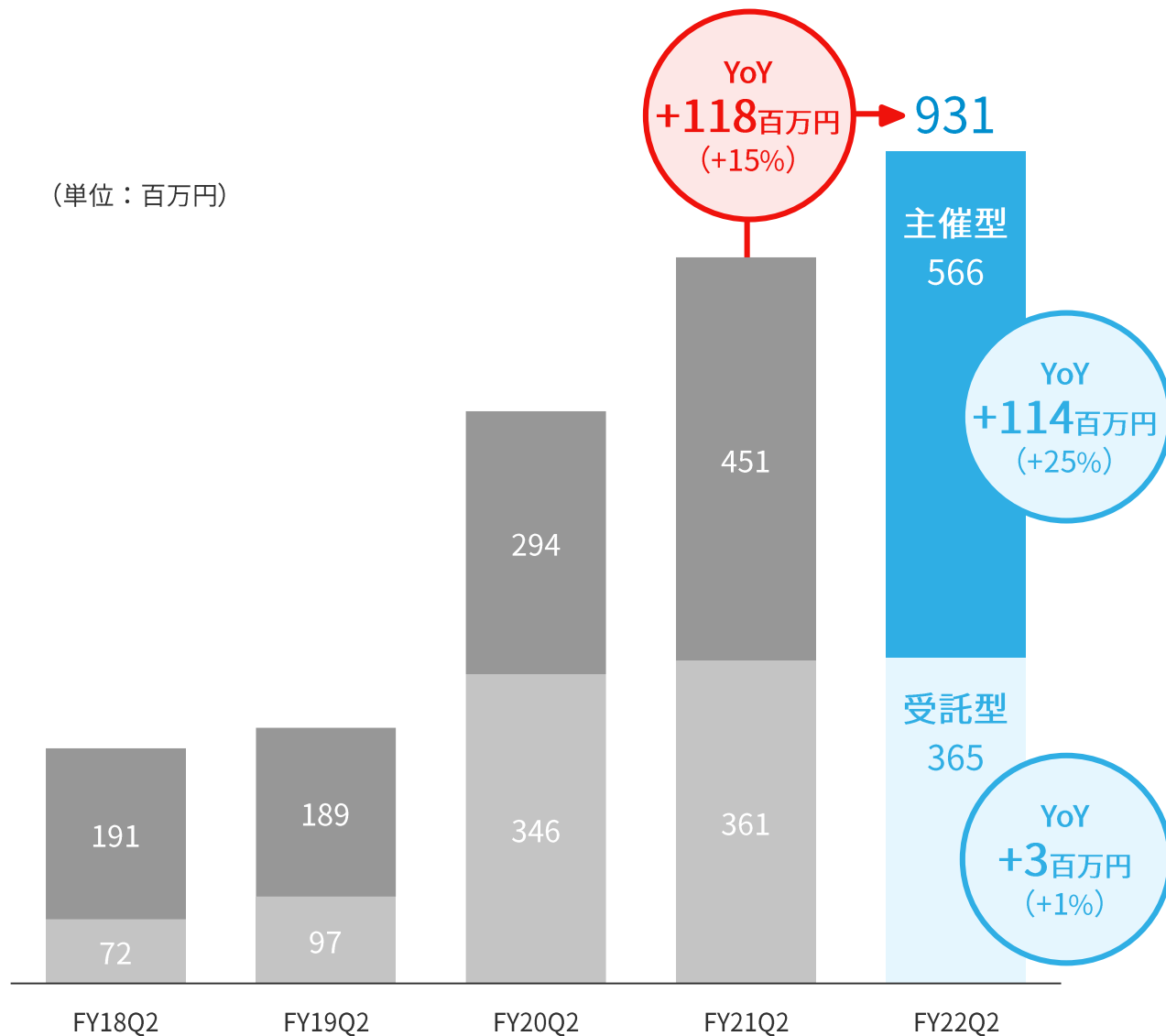
ニーズ拡大継続

コンテンツ強化奏功

中期目標 X40に向けコンテンツ投資を強化



(単位：百万円)



デジタルシフト継続

主催型中心の成長



ITmedia
SaaS EXPO
2022 Summer



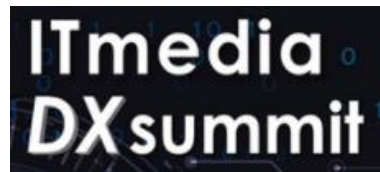
ITmedia Virtual EXPO
2022 秋



Digital Business Days



Digital Business Days



INDUSTRY TECHNOLOGY FAIR

(関連プレスリリース)

<https://corp.itmedia.co.jp/pr/releases/2022/09/05/securityweek/>

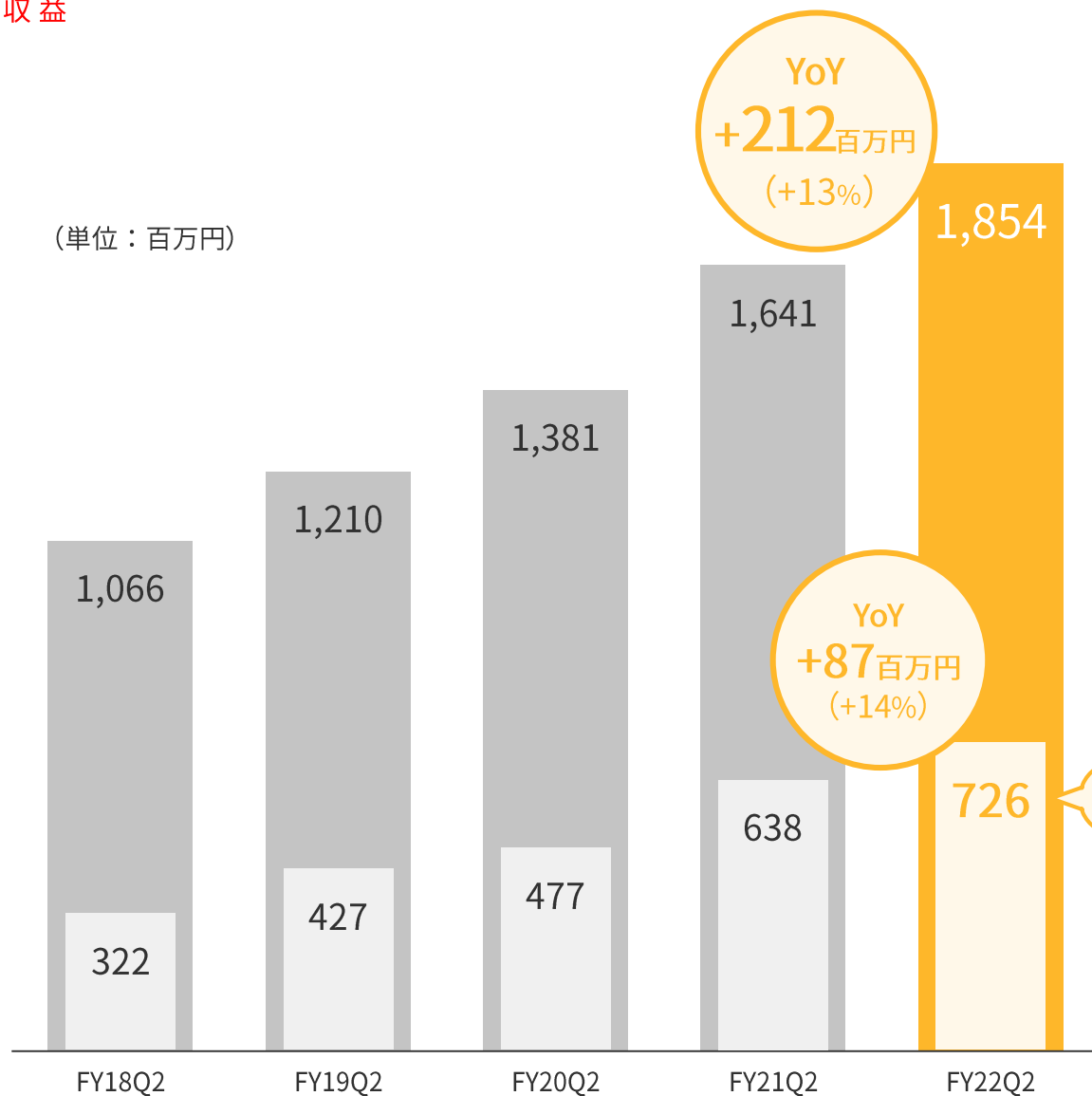
<https://corp.itmedia.co.jp/pr/releases/2022/10/11/digitalbusinessdays/>

ITmedia Virtual EXPO に次ぐブランドが成長

- ・ 展開領域ごと旗艦イベント設定
- ・ 既存ブランドの強化
- ・ 展開領域の拡大、イベント新設

ブランド浸透、集客強化のため
外部広告出稿を拡大（原価増）

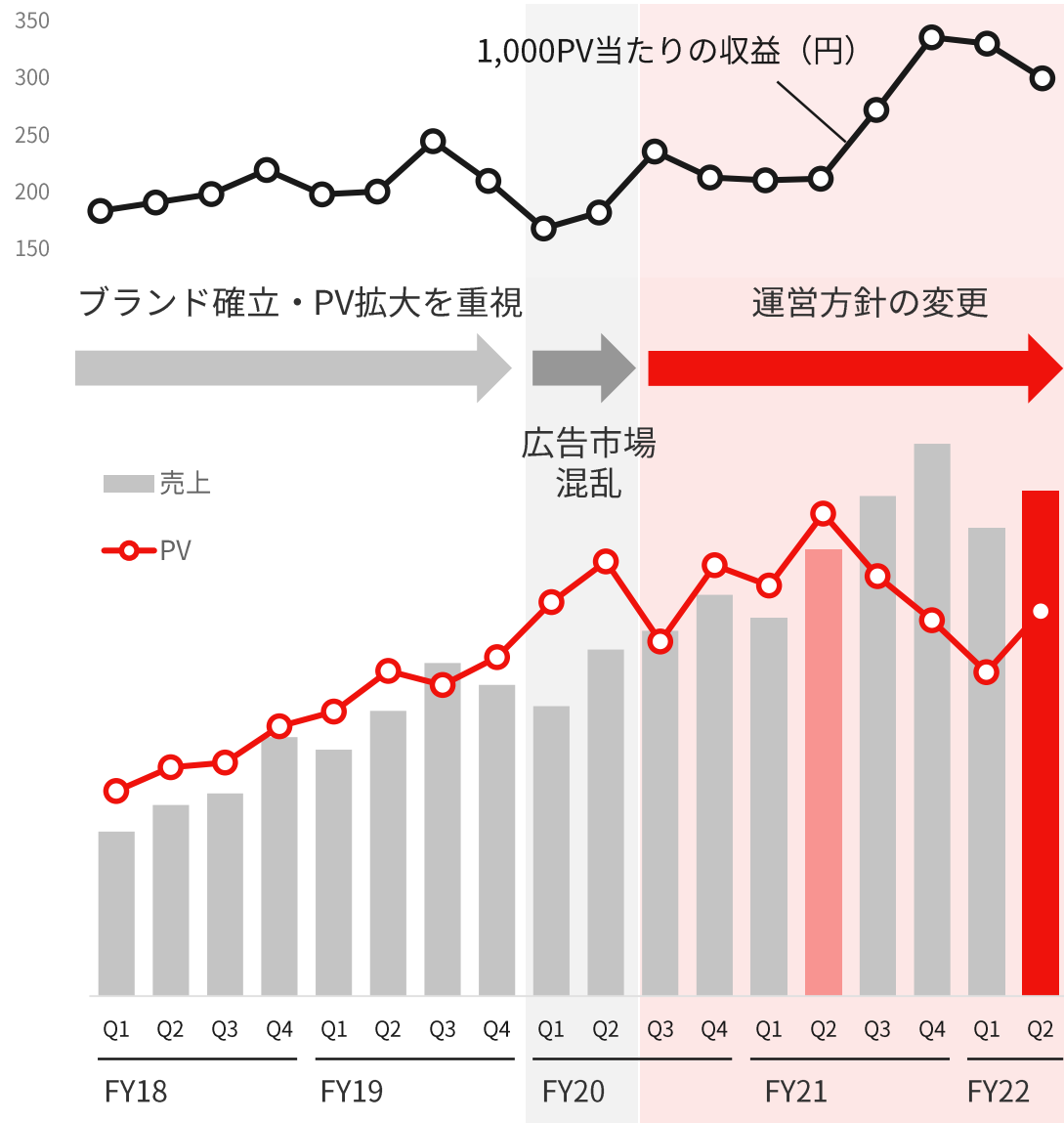
(単位：百万円)



スマート&ソーシャル 運用型が成長けん引

内、運用型広告収益

広告収益：ねとらぼ 売上とPVの推移



当期の想定

FY20Q3以降の方針変更奏功
 総PVはやや鈍化
 収益性の高いPVの拡大継続
 +
 コロナ収束 広告市場単価改善期待

上期の状況

増収継続
 PVのコントロールは順調
 広告市場単価は改善も想定より鈍重
 運用型広告管理システムを更新



当社の概要

2023年3月期 第2四半期 業績概況

サステナビリティ

2023年3月期 業績予想・配当予想

各四半期ごとの進捗をお知らせします

サステナビリティ：当期の重点トピック（2022年4月28日公開）

Done 

マテリアリティ
の特定

Done 

英文開示拡充

Topic 

気候変動①
脱炭素関連
コンテンツ拡充

Done 

ダイバーシティ
推進

Topic 

SDGs 関連
コンテンツ拡充

Q3
以降予定 

気候変動②
ESGデータ開示

メディアとして社会の変革に貢献

コンテンツ例

SDGs特集 「企業が変わる未来の社会」

<https://www.itmedia.co.jp/news/special/bz220206/index.html>

SDGs特集 「企業が変わる未来の社会」

by ITmedia NEWS & ITmedia ビジネスオンライン

企業活動が社会により良い影響を与え、持続可能な未来を描くこと——顧客やパートナーの信頼を勝ち取るためにこれらの視点は不可欠です。私たちはSDGsに取り組む企業を応援しています。



未来を創る、企業の挑戦



貧困や飢餓、気候変動、天然資源の枯渇、教育機会とジェンダーの不等など、世界の国や地域が抱えるさまざまな問題を解決するために、193の国連加盟国は2015年、今後の15年間で達成すべき目標として、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) を掲げました。そして、この17の分野にわたる大きな挑戦は、いま多くの企業で注目されています。

コンテンツ例

カーボンニュートラルへの挑戦 ～製造業は今、何をすべきか～

<https://monoist.itmedia.co.jp/mn/subtop/features/carbonneutral/>



カーボンニュートラルへの挑戦 製造業は今、何をすべきか

脱炭素動向 脱炭素ソリューション 脱炭素事例

陽光発電設備を設置している主な事業

国	事業名	発電容量 (kW)
日本	三井物産	1,028kW
日本	丸紅	1,084kW
日本	住友商事	1,025kW
日本	三菱商事	1,800kW
日本	伊藤忠商事	4,600kW
日本	フジフイルム	1,083kW

脱炭素：省イリジウムな水電解用電極の大型化技術開発、東芝が2023年以降商用化を目指す
10月7日 08時00分

製造マネジメントニュース：AI倫理対策や2040年のネットゼロ実現、加速するソニーのサステナビリティ施策
9月21日 08時00分

15th ANNIVERSARY
MONOist

MONOist 15周年記念
プレゼントキャンペーン
ソニー「WH-1000XM5」が当たる

おすすめブックレット
三菱重工が脱炭素に2兆円/5G基地局のCO2排出量半減

4
Materiality

多様性を尊重した 働き方の推進

多様な人材が安心して活躍できる環境を整備することで、従業員のモチベーションや生産性を高め、企業の持続的な成長を目指していく。

ダイバーシティ

女性活躍推進をプロジェクト化

▶ 実行計画を策定中

目標
管理職における
女性比率 **30%**

スマートワーク

▶ スマートワーク制度の拡充

従業員が
遠方地勤務
を選択可能に

▶ リモートワーク・勤務環境の最適化

紀尾井町
オフィスの
スペース
縮小

今後の
人員増には
フレキシブル
オフィス活用

柔軟な
スペース調整
変動費化
を推進

※ 2022年度下期にはコスト増
(既存建物設備の加速償却等 40M程度)

2022年10月3日プレスリリース
<https://corp.itmedia.co.jp/pr/releases/2022/10/03/smartwork2/>



当社の概要

2023年3月期 第2四半期 業績概況

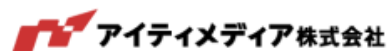
サステナビリティ

2023年3月期 業績予想・配当予想

「JPX日経中小型株指数」構成銘柄への選定（2022年8月31日より）

当社ではプライム市場移行に伴うステークホルダーの皆様からの期待の高まりを意識し、サステナビリティに向けた取り組みを本格化させております。

今後も株主および投資家をはじめとするステークホルダーの皆様のご期待にお応えできるよう、更なる企業価値の向上に取り組んでまいります。



2022年8月31日

「JPX日経中小型株指数」構成銘柄への選定に関するお知らせ

当社は、このたびJPX総研および株式会社日本経済新聞社が算出する株価指数である「JPX日経中小型株指数」において、2022年8月31日より構成銘柄に選定されることとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

JPX日経中小型株指数は、「投資者にとって投資魅力の高い会社」をコンセプトとし、資本の効率的活用や投資者を意識した経営などの投資基準を満たした、中小型株で構成される株価指数です。

新型コロナ

ウクライナ情勢

円安
インフレ懸念

沈静化は見えず、短期で不透明感が高まる

- ・外資大手を中心に一部企業で業績鈍化も

コロナ収束による想定

- ・マーケティングのデジタルシフトは継続
- ・デジタルイベント収益：短期的に減速 当初想定より軽微
- ・運用型広告収益：単価改善 当初想定より鈍重

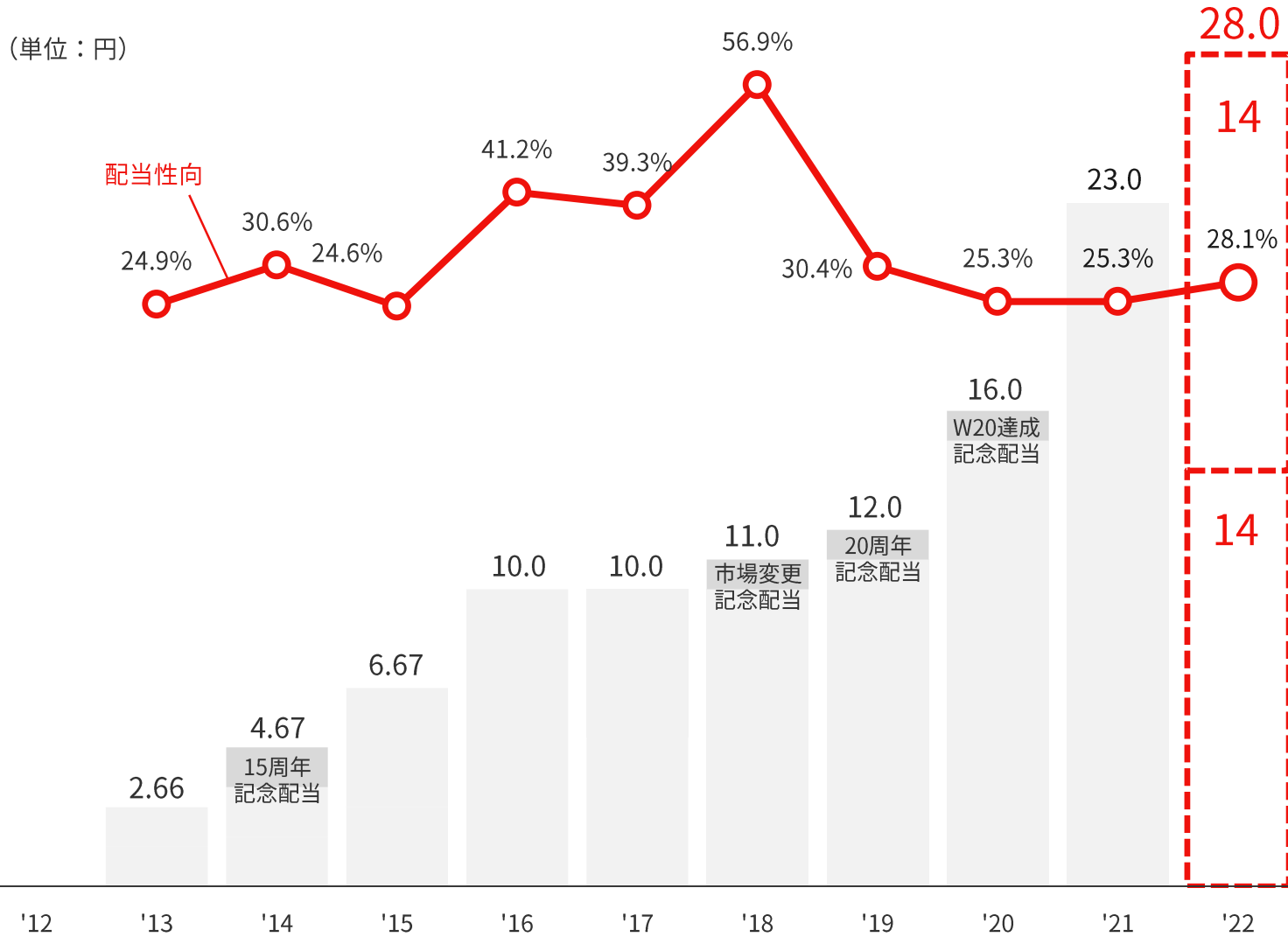
- ・ 上期は堅調
- ・ 景況の不透明感増大
- ・ 下期一時コスト追加
(オフィス加速償却 *P44)



現予想を維持

(単位：百万円)	売上収益	営業利益	親会社の所有者に帰属する 当期利益
通期	8,730	2,920	1,970
前期比	(+7.9%)	(+8.7%)	(+9.4%)
前期実績	8,092	2,687	1,800

※上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。



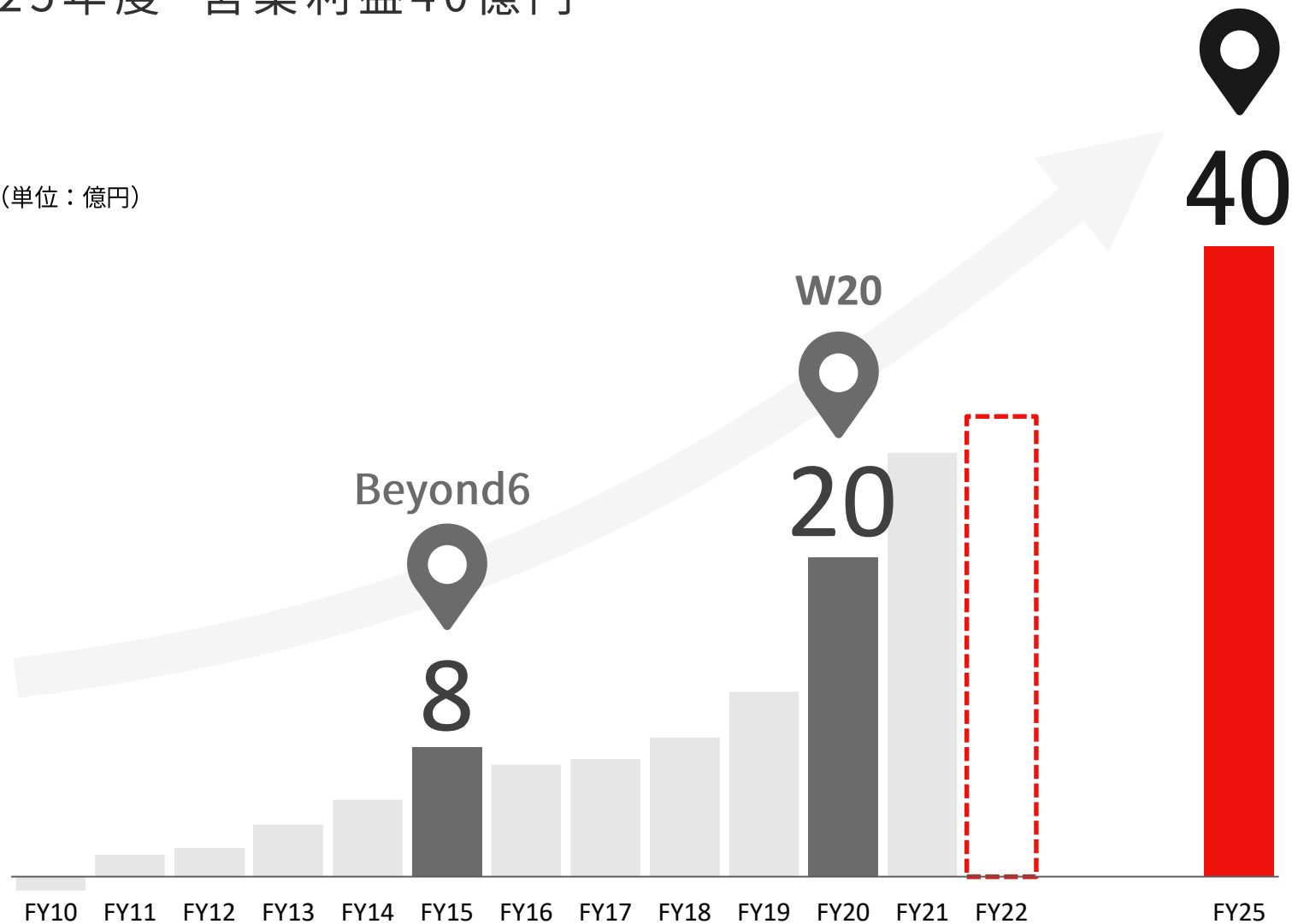
期初予想から変更なし

年間 28円

※配当性向 28.1%

2025年度 営業利益40億円

(単位：億円)



2025年度 営業利益

40 億円達成
||
X40
エックスフォーティ



ITmedia Inc.

Our Mission

メディアの革新を通じて
情報革命を実現し、社会に貢献する



お問い合わせ先

〒102-0094
東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル
アイティメディア株式会社

お問い合わせ : ir@sml.itmedia.co.jp